



原作
Fate/stay night (TYPE-MOON)
企画原案
TYPE-MOON
漫画
ひろやまひろし
Kadokawa Comics A



2
原作 Fate/stay night 企画原案 TYPE-MOON
漫画 ひろやまひろし
KCA200-2
角川書店

9784047151420

1920979005808

ISBN978-4-04-715142-0
C0979 ¥580E
定価: 本体580円(税別) 発行: 角川書店

ぷるぷる イリヤ
Fate/kaleid liner PRISMA ILLYA

Ich werde in den Spiegel reflektiert.
Die Welt ist nur ein virtuelles Bild des Spiegel-Satzes gegen einander.
Ich kenne meinen hollowness nicht.
Und, ich habe die Hand nicht, die mich berührt.
Aber ich existiere hier.
Ich bin in der Welt des Spiegels.
dann ist Mein Verstand "unbegrenzt Prismawelt".



というわけで、2巻に渡ってお送りいたしましたプリズマイリヤもこれにて一旦幕となります。

元々はほとんど冗談みたいな妄想設定から出発した作品ではありませんが、こうしてなんとか形にすることが出来ました。当作品を世に送り出すことは作家としては嬉しくもあり、しかし原作ファンの方々にボコられないもんかと恐ろしくもあり…。「こんな可能性が平行世界のどこかにあっても良いんじゃないか」という妄想めいた願望に従って筆を取って参りましたが、さてどんなもんでしたでしょうか…。



プリズマイリヤ

Fate/kaleid liner PRISMA ILLYA

2

原作 Fate/stay night 企画原案 TYPE-MOON 漫画 ひろやまひろし

KCA200-2 角川書店

私としては、これが商業の初連載ということでも何かもが勉強の日々でした。学んだことは数知れず。そして方々に迷惑かけたことも数知れず…。いやホント、担当のエヌグチさんをはじめ、色々すんませんでした…。余裕シャクシャクで作業が出来る漫画家を目指したいと思います…。

最後に、当作品の執筆にあたって協力してくれた友人達、こんなぶっ飛んだ漫画を笑って許してくださったTYPE-MOONの方々、そして最後まで読んでくださいました読者の皆様に感謝の意を表しました締め言葉とさせていただきます。

あーリーガーとーゾーゾーまー！

-STAFF-
ナリタチヒロ
道久孝弘

-SPECIAL THANKS-
水田亮
いさお
よしお



Kadokawa Comics A

プリズマイリヤ

Fate/kaleid liner PRISMA ILLYA 2

原作: Fate/stay night (TYPE-MOON) 企画原案: TYPE-MOON 漫画: ひろやまひろし





プリズマ☆イリヤ

Fate/kaleid liner PRISMA ILLYA

漫画 ひろやまひろし

原作 Fate/stay night 企画原案 TYPE-MOON

第6話 選択肢は2つ…?

目 次

0 0 1

第6話

選択肢は2つ…?

0 2 9

第7話

本物の力、絶対の力

0 5 3

第8話

空白、夜の終わり

0 7 9

第9話

一回休み

1 0 9

第10話

勝利と逃走

1 3 5

第11話

普通の女の子に戻ります

1 5 5

第12話

ここで終わらせる

1 8 1

最終話

Kaleidoscope

2 1 7

エピローグ

F a t e / k a l e i d l i n e r P R I S M A I L L Y A

2

original story

Fate/stay night (TYPE-MOON)

original planning

TYPE-MOON

manga

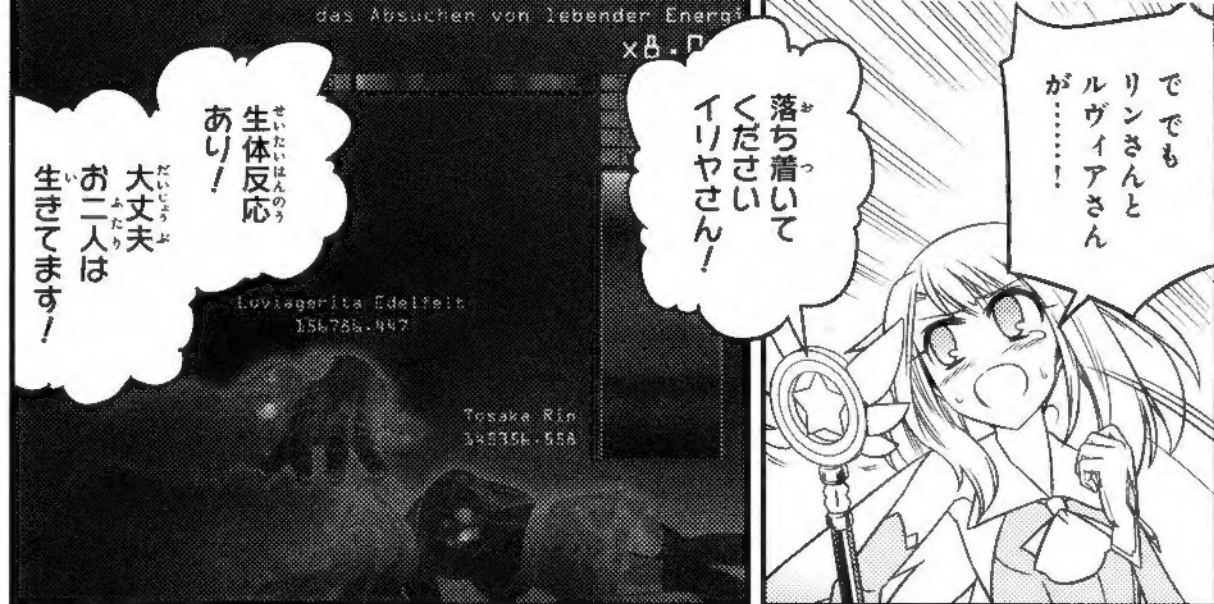
HIROYAMA HIROSHI

Kadokawa Comics A



ご...
ごめん

でも闇雲に
近づいちゃ
だめ...!





……まず
選択肢は二つ

即座に
敵を倒すか

隙をついて
二人を確保し
脱出するか



あの槍は？

あれなら
一撃必殺で……

だめ……
今は使えない

一度カードを
限定展開すると
数時間はそのカードが
使えなくなります

どうもアク禁
くらうっぽい
ですねー



「ライダー」の
カードは試して
みたけど……
単体では意味を
なさなかった

「キャスター」は不明……
本番でいきなり使うには
危険が大きすぎる

加えて
「アーチャー」は
役立たず……と

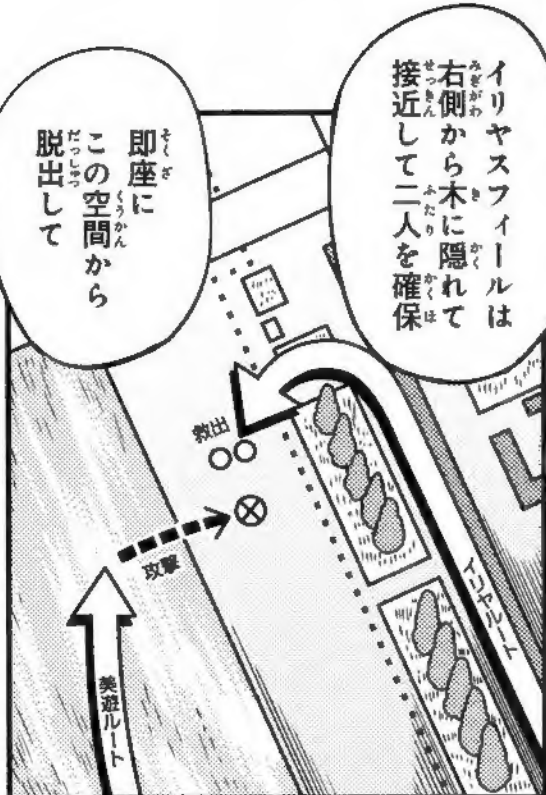
これは選択肢2番で
いくしかなさそうな
感じですか

……わたしが
敵を引きつける

!

イリヤスフィールは
右側から木に隠れて
接近して二人を確保

即座に
この空間から
脱出して



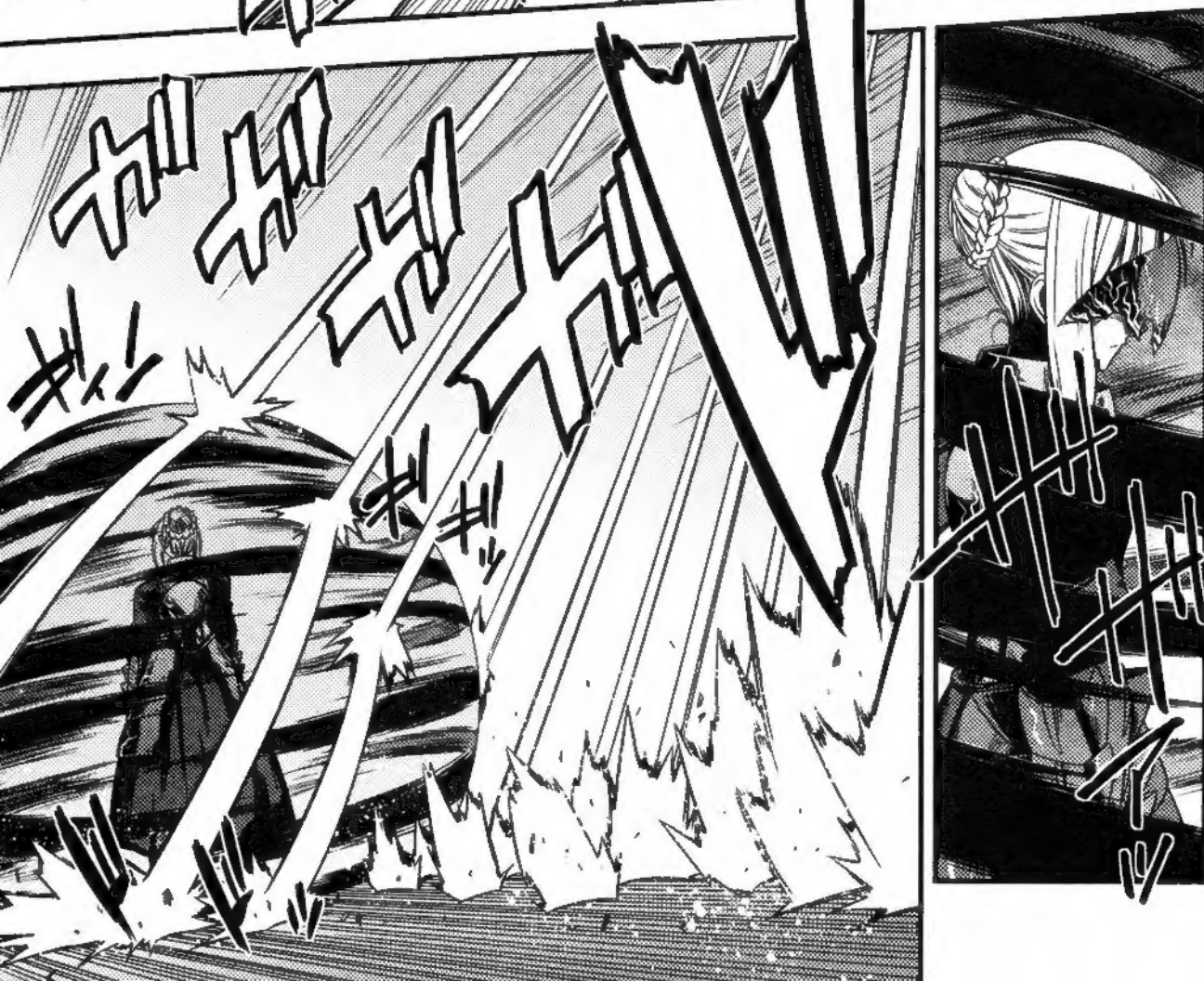
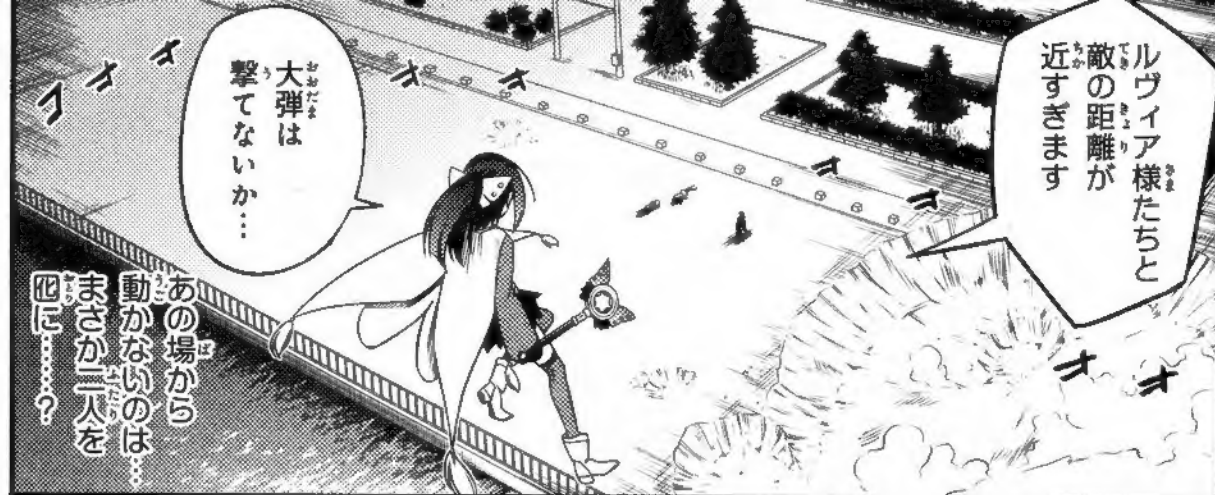
わ…

わかった!



いい?







敵の
損害なし
攻撃が届いて
いません…！

あれは
いったい…

霧に
阻まれた？



速射！！

救出までの
時間を稼ぐだけ！

今やることは…

関係ない

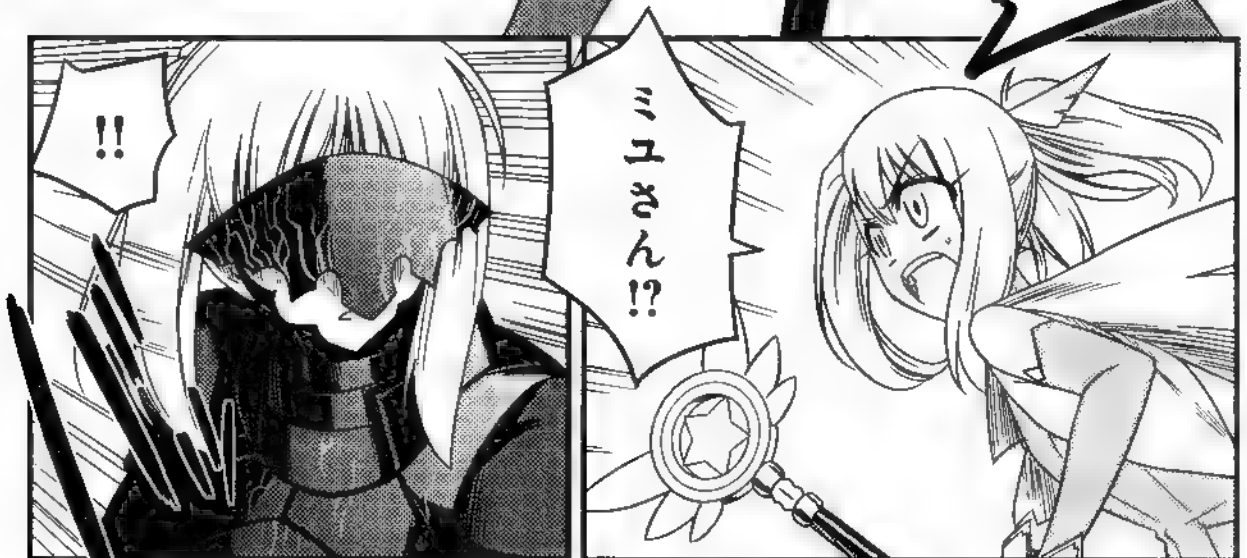


いえ
魔術を使っている
様子はありません
あの黒い霧は…
まさか…

どういう
こと？
もしかして
また反射平面
とかいう…



なっ...





敵に
気づかれ
ました！

えっ

逃げて
ください！
こっちにも…



きやあっ!!





あの異常な高魔力の領域に魔力砲が弾かれていたようです

飛ばしてきたのも魔力か…

魔術障壁じゃ無効化できない…!

何を
してるの!?

早く逃げて!!

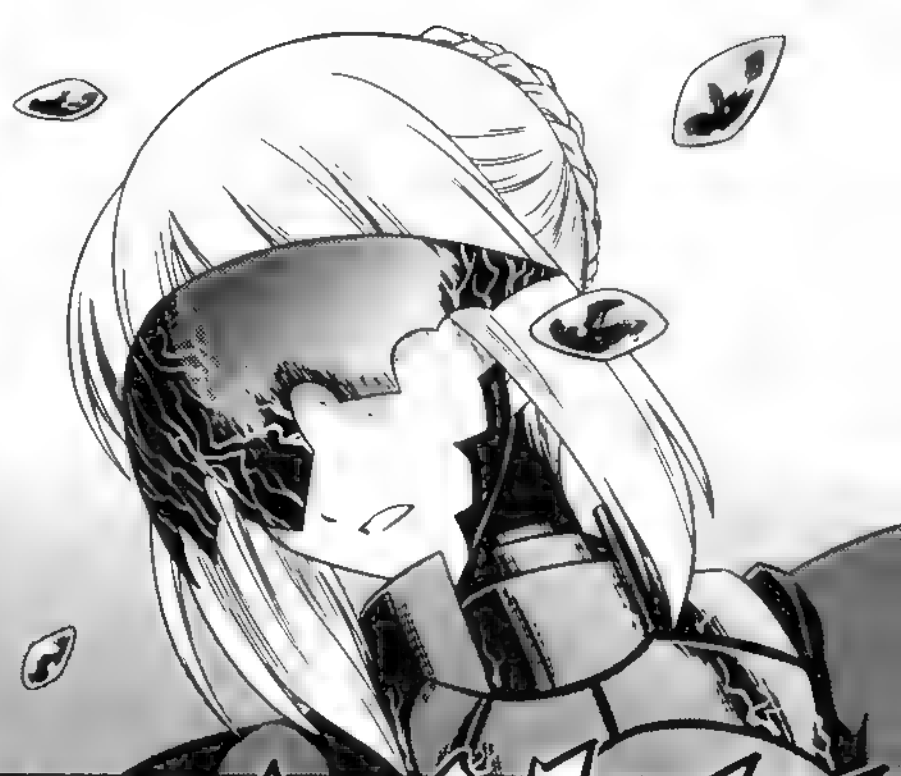
う…
あう…

追撃します!
立つてください
イリヤさん!!

イリヤスフィール!!

イリヤさん!

あ…!





凛さん！

ルウィアさん！

くっ…
やってくれるわ
この黒鎧…！！

美遊！
一度距離をとって
立て直しを…！！



足止め
にも…

なら
ない？

サファイア！！

ぶつりほこ
物理保護
ぜんかい
全開！！





「……
ミユネ……」

平気

それより
あの敵……

まずい
ですね……

とんでもない
強敵です



魔力砲も
魔術も無効

遠距離も
近距離も
対応可能

こちらの
戦術的優位性が
真正面から
ことごとく
覆されてます

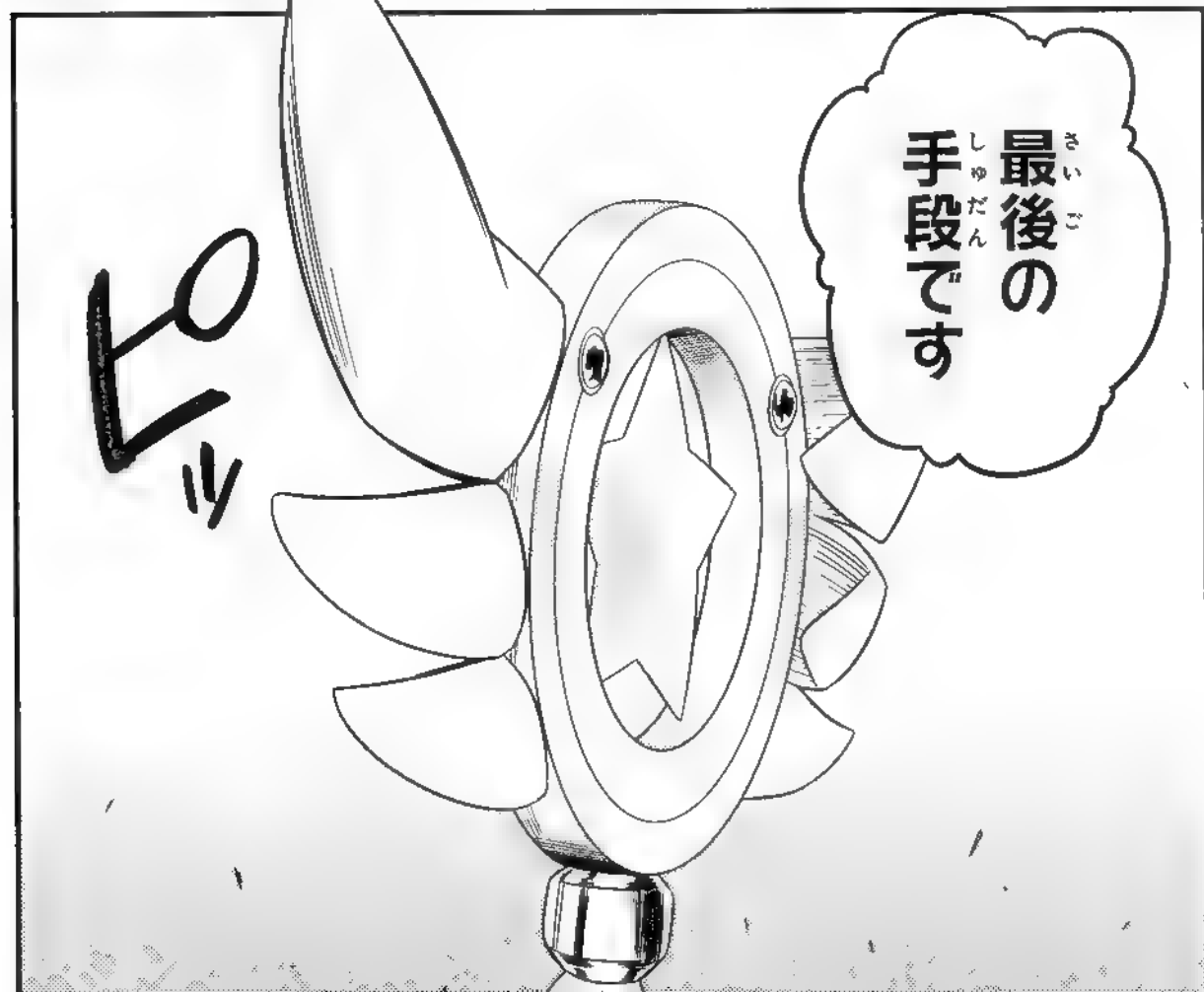
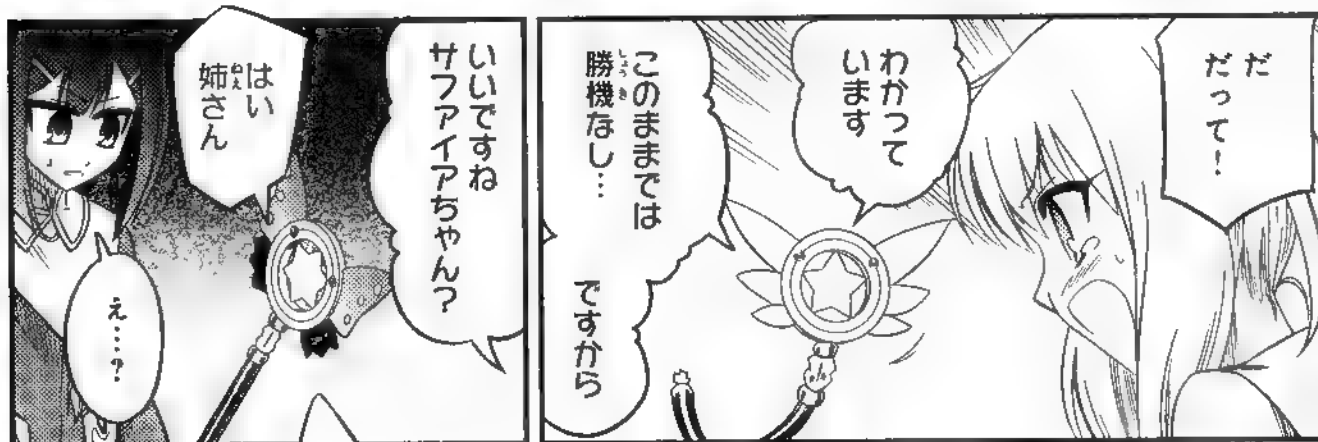
直球
ド真ん中で……



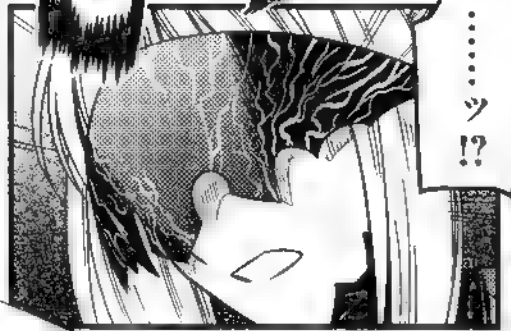
最強の敵
ですよアッ











せんたくし
選択肢…

3番!
ばん



まったく…

世話の焼ける
人だちです

見捨てるのも
忍びないので
今回だけ
特別ですよ

よく言うわ

最初から
こうしていれば
良かったのよ



ゲスト登録による
一時承認です

…不本意
ですが

何を
偉そうに…

これが本来の
形でしょうに

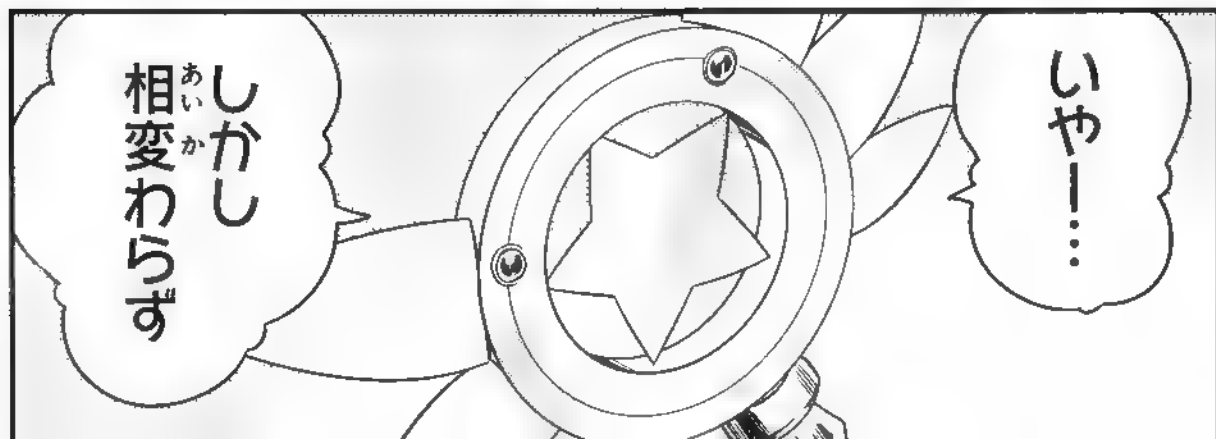




それじゃ

ほんばん
本番を
はじめ
始めましょうか





第7話 本物の力、絶対の力

いい年こいて
恥ずかしい
格好ですねー

お前が
着させてるん
だろーがーッ!!

ハタから見ると
魔法少女って
やっぱ
恥ずかしいなあ...

フ……
この服を着こなすにも
品格というものが
必要なのですわ

この私の
ように!

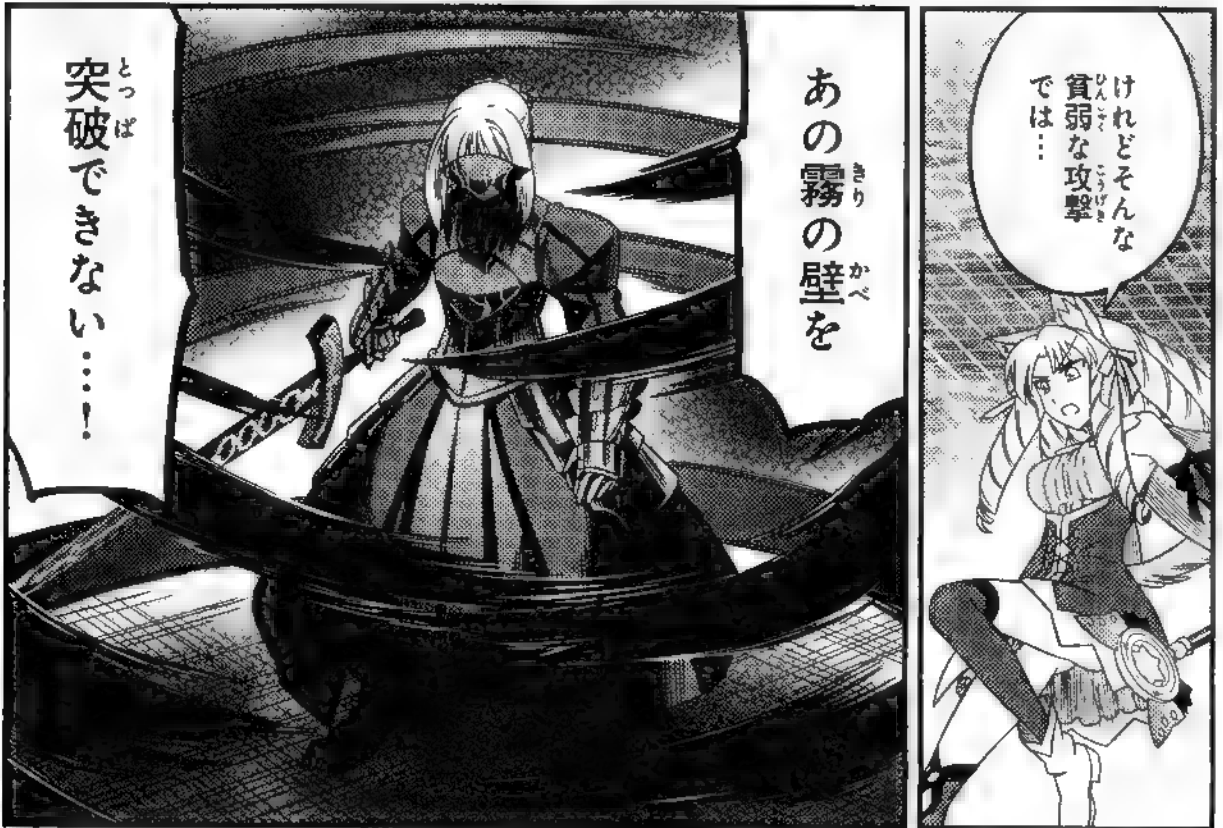
うわっ
バカだ
バカがいる!

さすがセレフは
ファッション
センスも
ナナメ上ですか



ねんじゅう、
年中ポケ倒しの
あんたには
いわれたく
ないわ!

ポケーツと
してる暇は
ありませんよー!
今は戦いの
真つ最中です!



いきます
わよ...

シュート
速射!!

なんて威力...!
基本性能が
まるで違う!

でも全然
当たって
ないよ!!

それで
いいのよ

ヒュッ

オオオオオオオオ



なっ…



ブレイド
刃!?

かったいわね
コイツ…!!



筋力が
足りてないわ！

ルビー！
身体強化7
物理保護3!!

こき使って
くれますねー



高密度の魔力で
編まれた刃…!!

あれなら
魔力の霧も
突破できる上

残りの魔力を
防御や強化に
まわせる…



こんな戦い方が
あったなんて……!

砲撃だけが
能じゃ……

ないのよ!!

わたしとしては
泥臭い肉弾戦は
主義に反するの
ですけどー

魔法少女は
もつとハデで
キラキラした
攻撃をすべきです
絵的にも
イマイチですコレ

うっさい!
刃を交えて
見えるものも
あるのよ

そんなもん
ですかねー

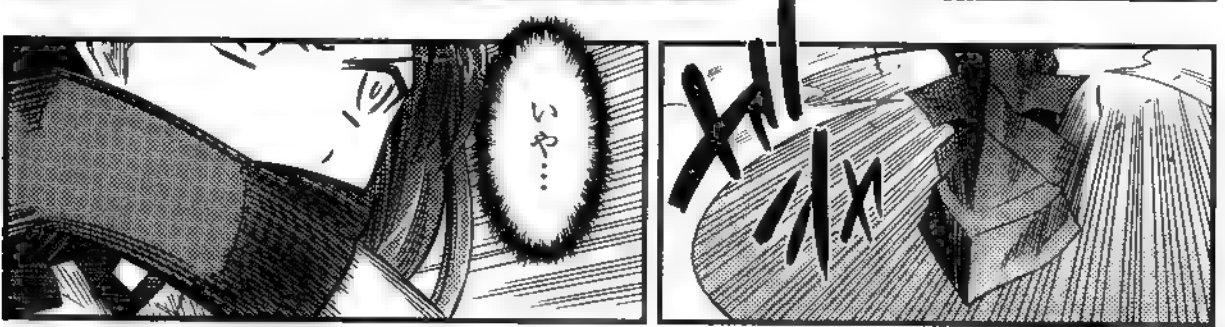
……実際
わかった
こともある

こいつ…
確かに実体はあるけど
人間らしい意思は
まったく感じない

まるで目の前の敵を
倒さなくてはならぬだけの
機械が獣か…



いや…



英霊の現象
か！







ようやく
つか
捕まえたわ

砲射
ファイア
!!



……ッ!!



零距离
砲撃……!!

うわっ
なんかすごい
デジャブ!



ま

ひとまず時間稼ぎ
ご苦労様といった
ところですわね

準備できてるん
でしょうね
ルヴィア

フン……



いったー……

剣士相手に
接近戦なんて
やるもんじゃ
ないわね

両手持ちだったら
やばかったですね



当然ですわ

……ッ!!





まさか…

魔法…
陣…!?



魔力の霧
だろうが
なんだろう
が

はじめ
から…

シユート
6 回分の
チャージ
完了…

ちようど
さつきの敵とは
立場が逆
ですわね



まとめて
吹っ飛ばして
あげるわ!!!

これを
狙った
の!?



シュー
ー
ト
斉射
!!!
フ
オ
イ
ア





うそ
嘘っ…!?

ちから
あつとう
どれほど力で圧倒しようとも

あれを
うけてまだ…
受けてまだ…

ちりやく
どれほど知略をめぐらせても



すべてをひっくり返す^{かえ}

ぜったいでき
絶対的な力がある^{ちから}

わたしたちが
いったい
どんな怪物と
戦っていたのか…

その宝具の
真名とともに
知ることになる

約束された
勝利の剣



黒い黒い
極光の暴力は

一瞬で
二人を
飲み込み

鏡面界を
両断した

すべての
希望が断たれ

かたてない
絶望に
触れた時

かちり、

と――

わたしのなかで
何かが外れる
音がした

THE
FURNACE

My
Oblivion
Stone

000

0000

第8話の舞台、夜の街

0000

My
Oblivion
Stone

My
Oblivion
Stone

My
Oblivion
Stone



そして

わたしの記憶は
ここで途切れる

第8話 空白、夜の終わり



な..
なに...?

なにが
起きてるの...



イリヤスフィール!!



うっ...

あ...あ...





倒さなきや…
タオ

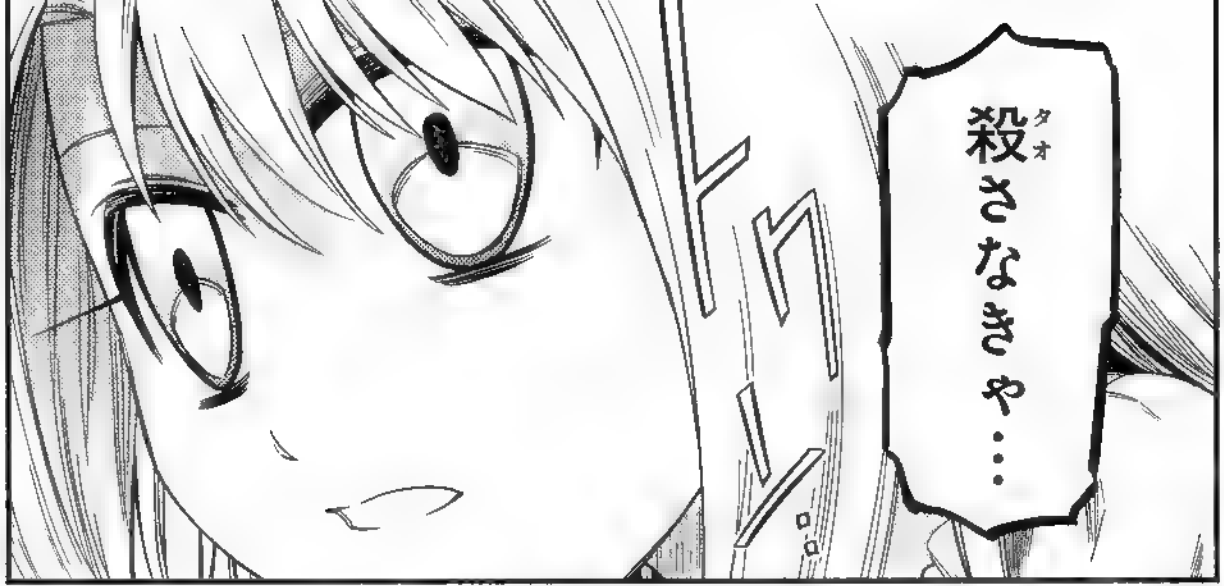
えっ…

倒さなきや…

倒さなきや…

倒さなきや…

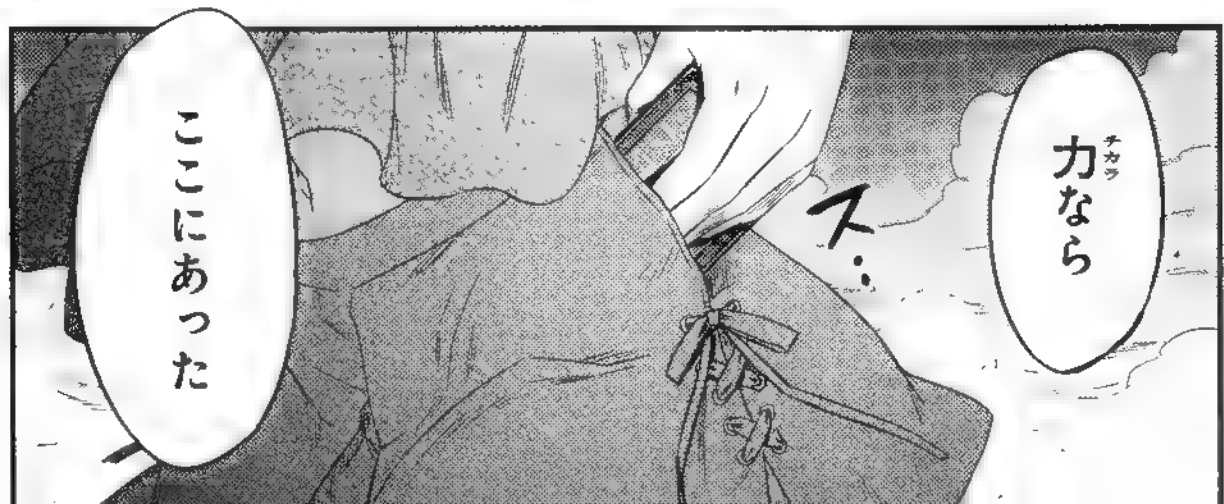
倒さなきや…



どうやって？



ああ——そういえば





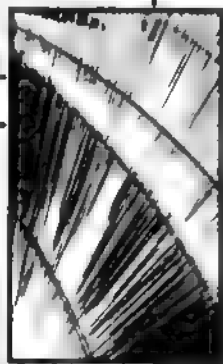
Archer

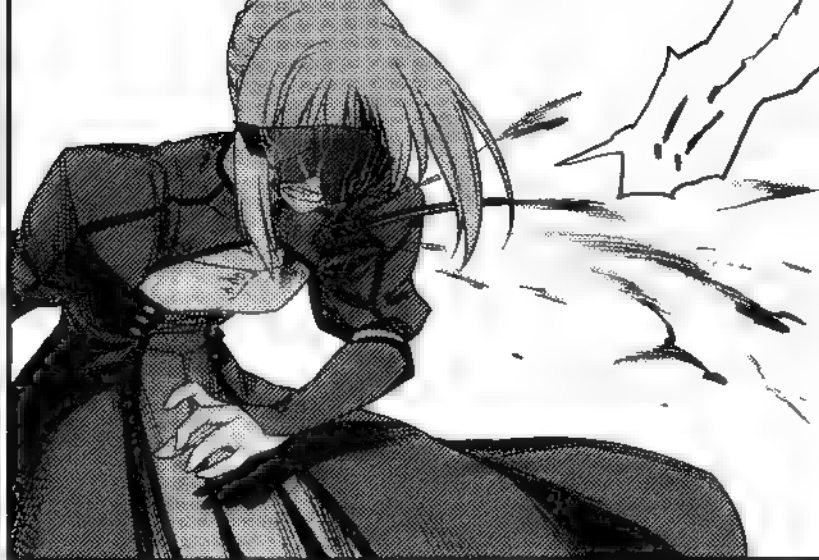
夢幻召喚

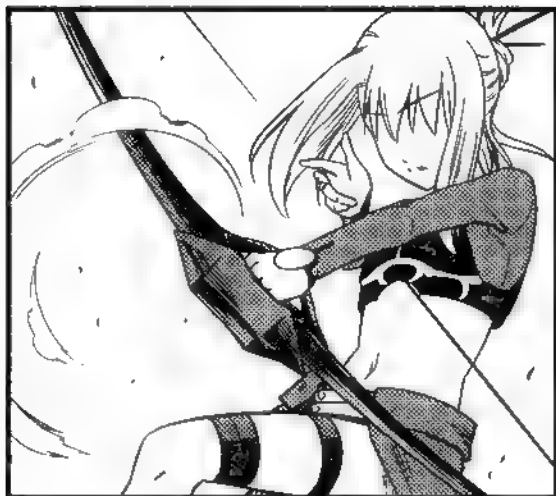














あの姿...
あの戦闘能力...
彼女は今完全に
英霊と化している...

そんな
まさか...



信じられない...

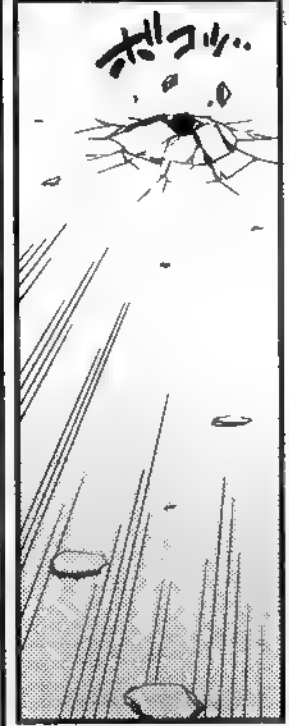


手順も
知らないまま

膨大な魔力のみで
強引に召喚
した!?



えっ...



ホッ...

ご無事です
美遊様ーッ!!

キヤーッ!?



負傷は
しましたが
ルヴィア様たちも
ご無事です!



はい 何とか
地中へ潜って
緊急回避を





まずい！
宝具の
二撃目……！

あれは……
イリヤ様ですか？！
いったい……



トレース
投影 開始



逃げて
イリヤスフィール!!

いくら英霊化してても
あの聖剣には勝てな……



約束^ユされた^ス

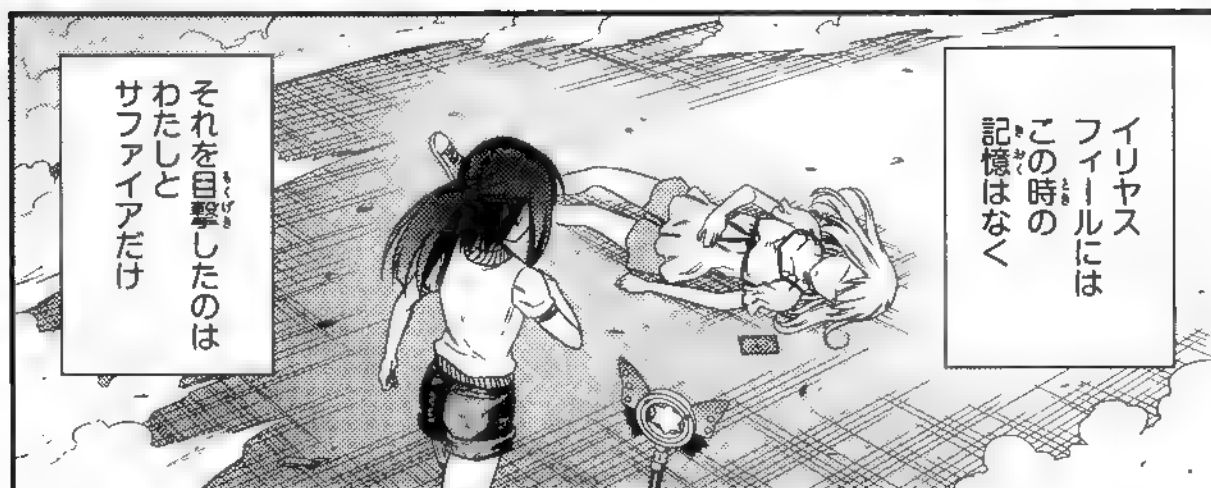
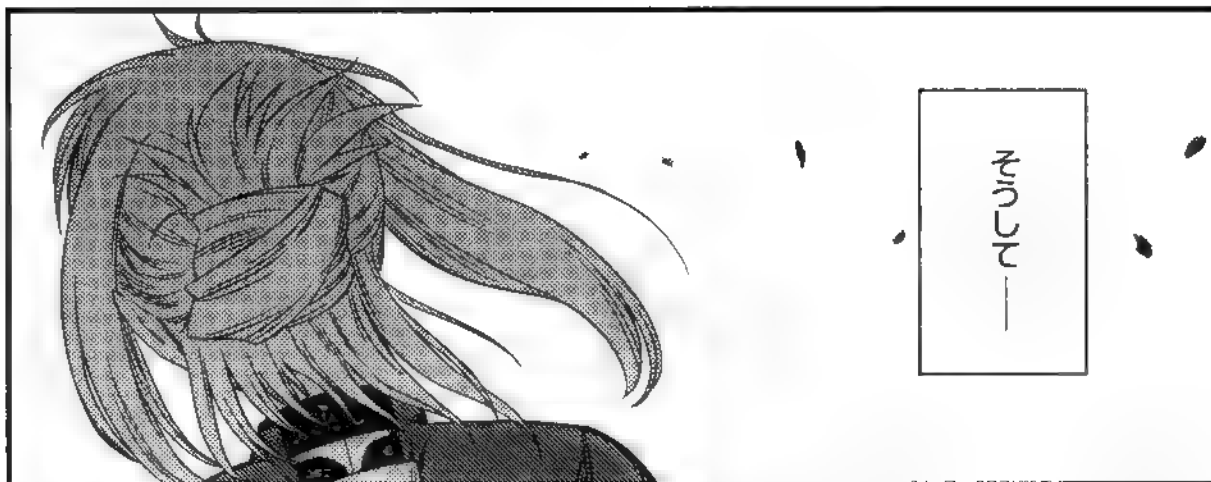
勝利^カの^ツ剣^バ!!!

あああああ

う...

.....
ツツ!!!





この場で何が
起こったのか…

正しく
理解している
者はいない

けど
とにかく

わたしたちは
生き延びた

ぶっは！
死ぬかと
思ったわ！

おのれ
この世界は
百倍にして
返して…

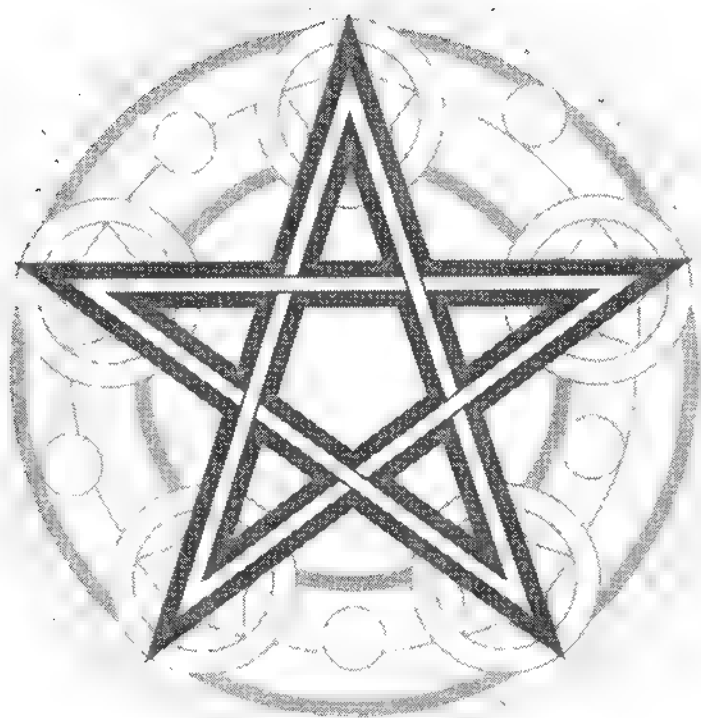
ん？

長い夜は
終わった

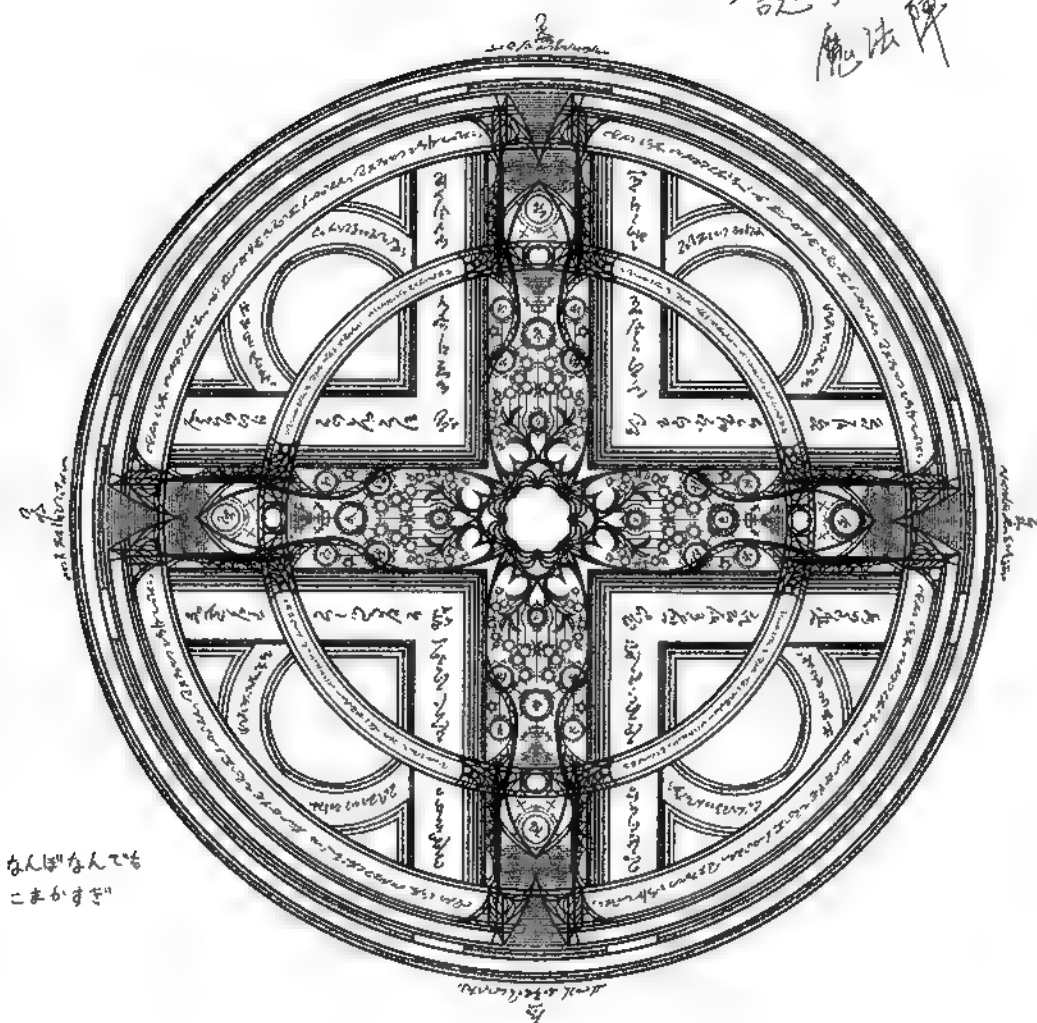
Saber

今は

それだけで
いい



謎の
魔法陣





38度2分…

風邪ではない
ようですが…
少し熱が
ありますね



学校へはわたしが
連絡を入れて
おきます

…大事をとって
今日はお休み
しましょう



んー
確かにちよつと
熱っぽいかも…



万が一があつては
奥様に顔向け
できません

過保護で
結構です

えー
セラ過保護
すぎー



とにかゝる今日は
お休みです！
お昼にはお食事を
持つてきますので
安静にしてい
て下さいね！

はい
はい！



お休み……

か……



第9話 一回休み



熱はありますが
他の症状は
見られません

それほど心配は
いらなんでしょう

そっか
良かった



あ
セラ
イリヤの
様子は
どうだった？



…食器は
どこへ？

洗い物ならもう
済ませといたよ

鍋も皿も



とりあえず
今日一日は
様子を見ます
シロウは
心配せず学校に…



また貴方は
そうやってサラッと
家事をこなして…！

今日は当番じゃ
ないでしょう！
わたしの仕事を
奪わないで
くださいっ！

怒ることは
ないだろ…

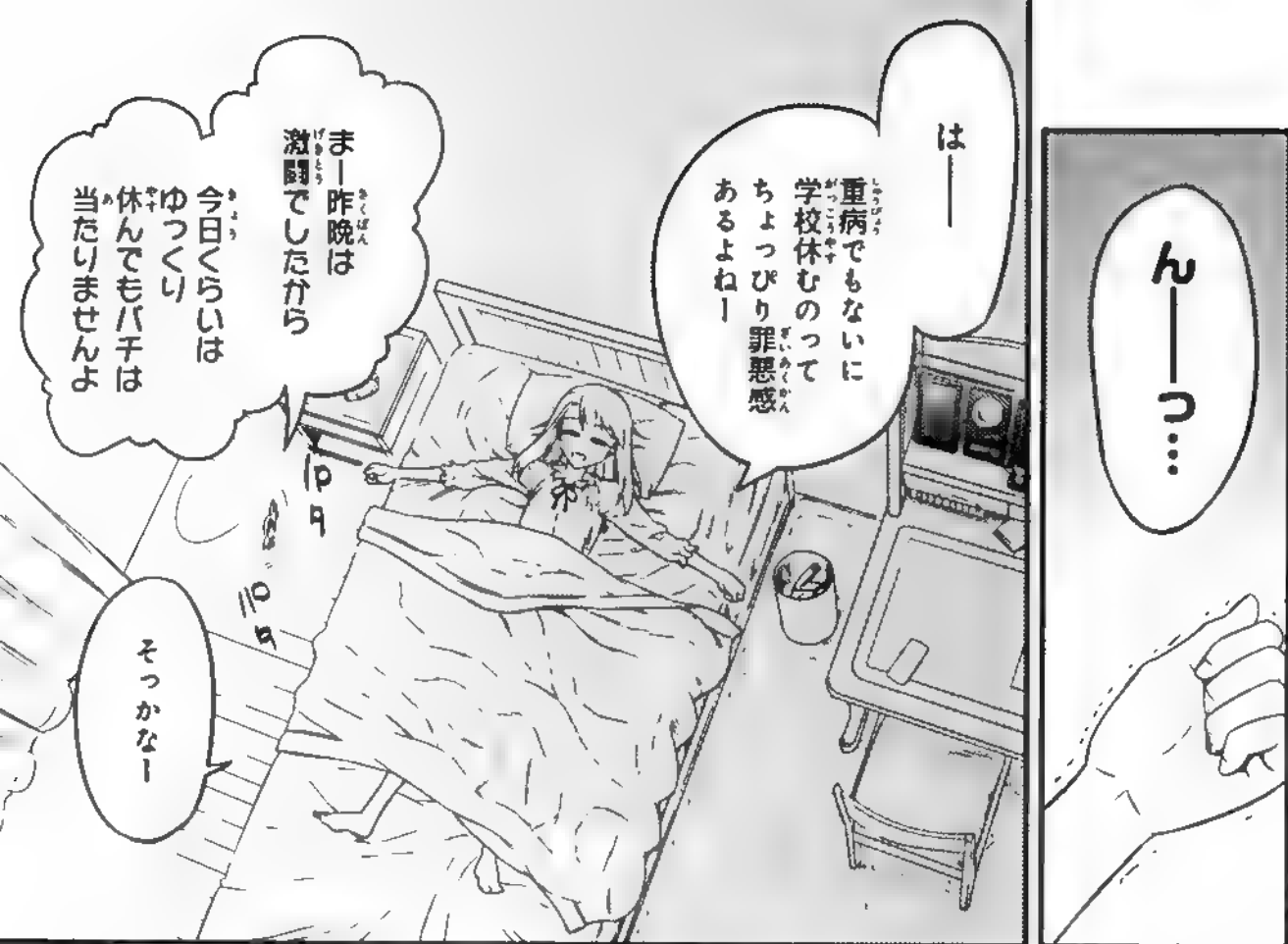


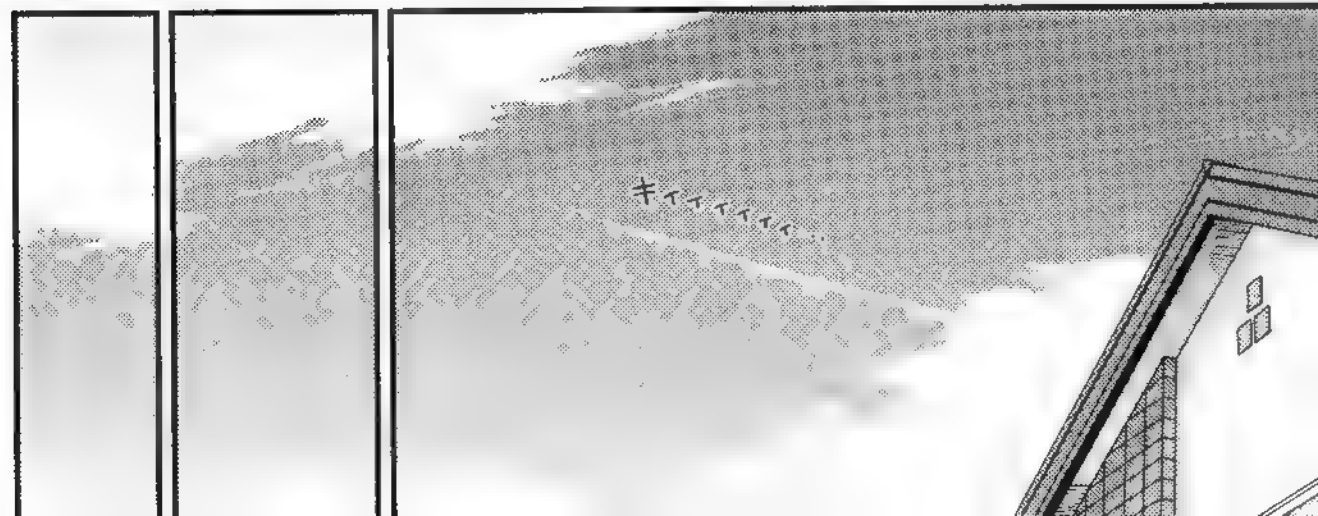
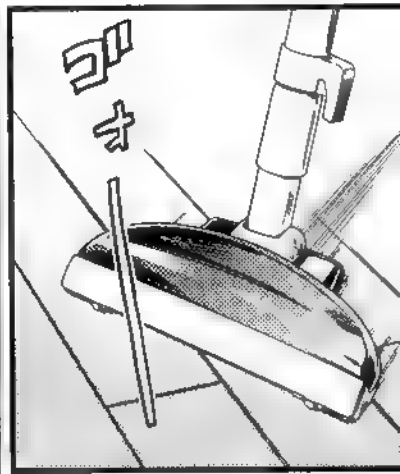
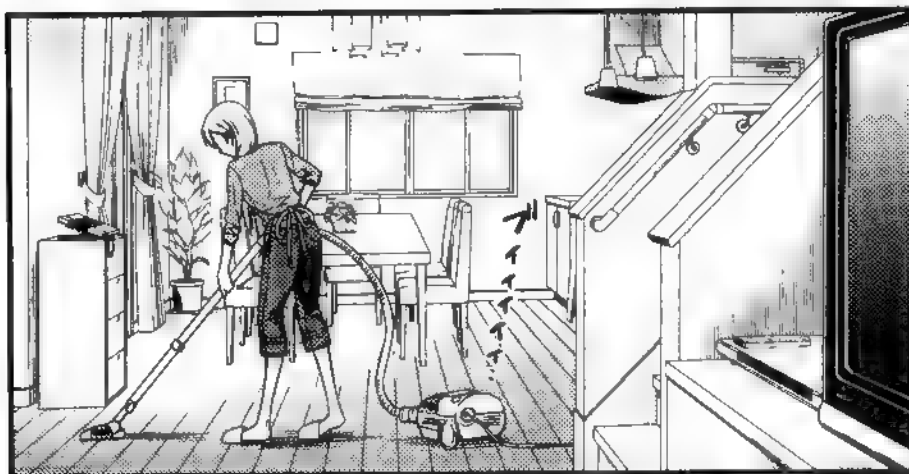
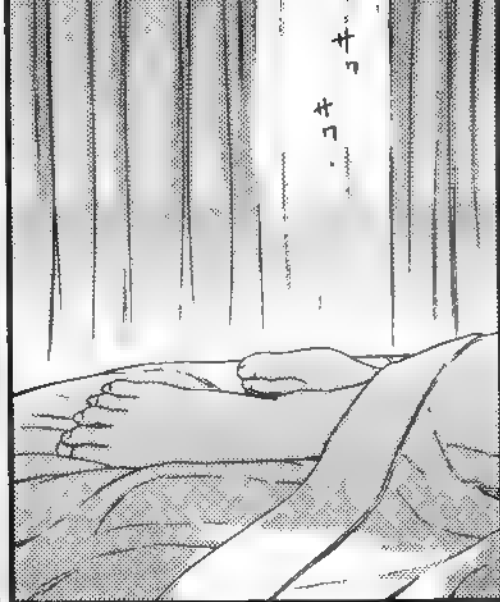
朝食の残りは
大皿にまとめて
冷蔵庫に
入れといたから
昼にでも…

なっ…

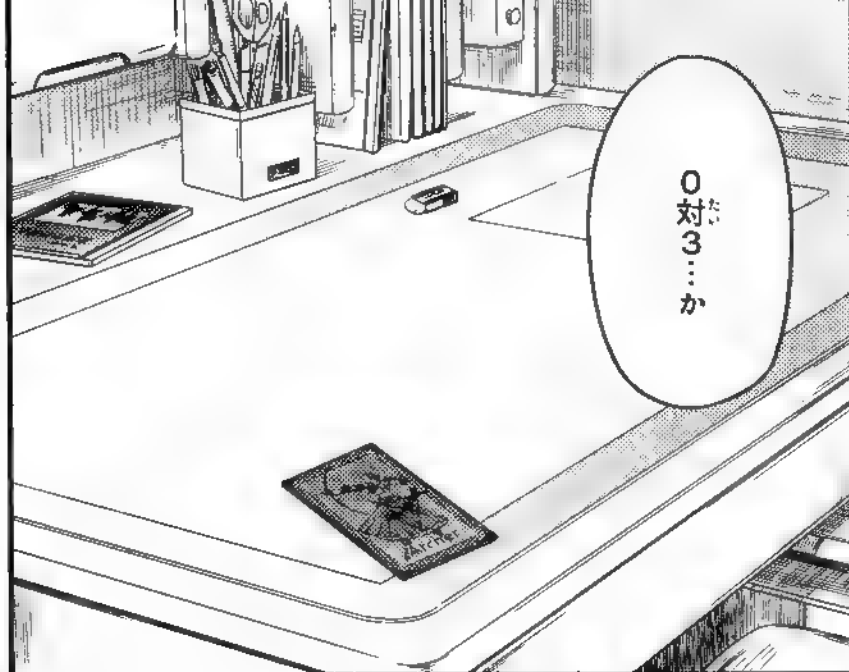


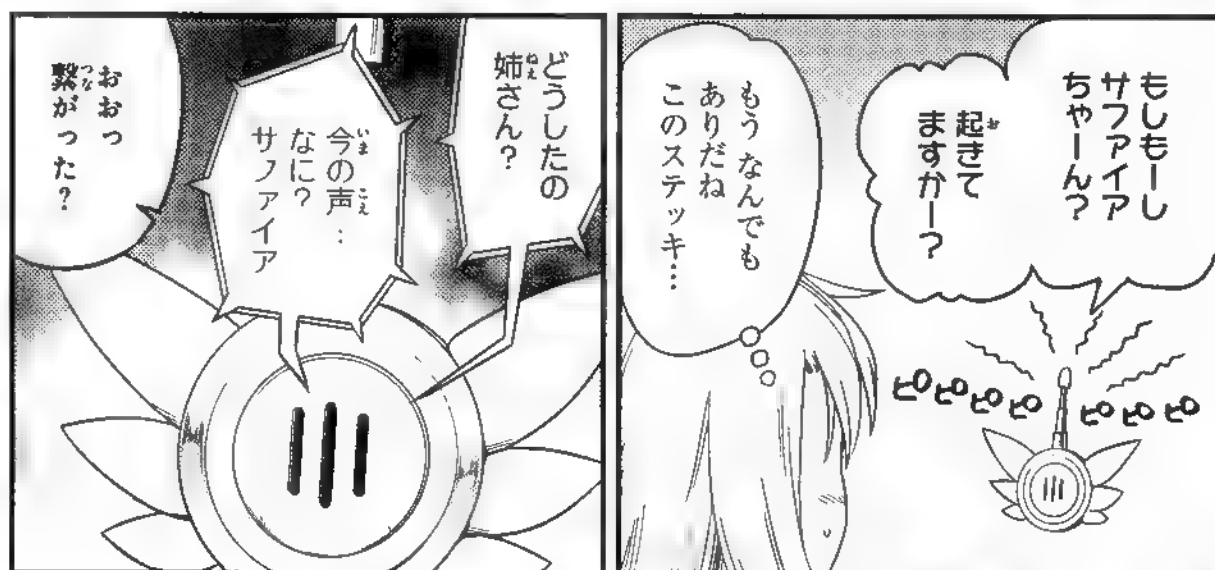














フロジエクター
です



サファイアちゃんが
今見てるものを
リアルタイムで
映せます

ほんっと
無意味に
多機能ね…

ちようど白い壁が
ありますし
ここに映し
ましょうか

え…
テレビ電話!?

あっ
ちよっと
何を…

いきますよー

タッ

待つ…







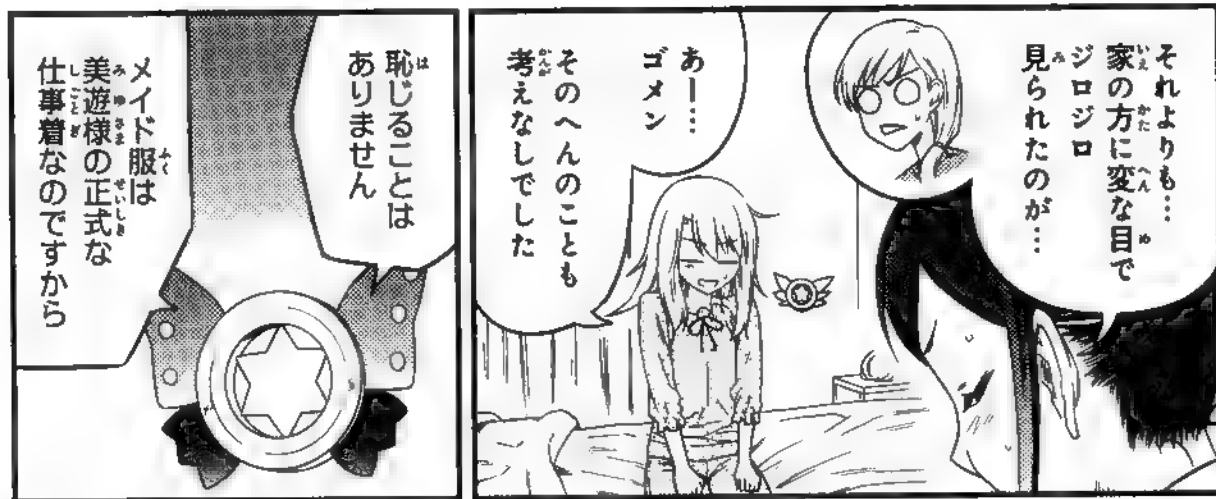


やー
ごめんね…

なんか変な
テンションに
なっちゃって…

いえ別に…

イリヤさんは
潜在的に
Sですね…



それよりも…
家の方に変な目で
ジロジロ
見られたのが…

あー！
ゴメン

そのへんのことも
考えなしでした

恥じることは
ありません

メイド服は
美遊様の正式な
仕事着なのですから



正式な…
ってことはやっぱり
本当にメイドさん
なんだ？

う…うん

一応レディースメイド
扱いでルヴィアさんの
身の回りのお世話を…

他に行くところが
なかったわたしを
ルヴィアさんが
拾ってくれて…

生活の保護は
してあげるから
それと引き換えに
メイドやカード回収の
手伝いをしなさいって



ええ…
イリヤ様単独で
打倒を…

わたしたちが
入り込む余地が
ないほどに高度な
戦闘でした

うん…

にわかには
信じられない
話ねー

見た方が
早いと思う

これを…

お
記憶
同調
ですね

バッチ
コピー

ああッ！
入ってくる…ッ！

ドクドクと…

サファイア
ちゃんのが
わたしの中
にイ—ッ！！

キュンキュンキュンキュンキュン

ハアハア…

サファイアちゃんが
ノつてくれなくて
お姉ちゃん
寂しいです

余計な演出は
いらな
い
です
姉さん

まずは驚き…
ですかね

イリヤさんては
ほぼ完全に英霊化
しているみたい

恐らくはこれが
本来のカードの
使い方なんで
しよつね

それで…
どう思うっ？

うん…

でも協会ですら
解析できなかった
カードの使用方法を
どうして…

うーん
だから使い方を
知っていたんじゃ
なくて…

手順を
すつ飛ばして

結果だけ
導いた
……とか?

…それが
イリヤ様の
能力?

憶測です
けどねー

この家に魔術師の人は
いないみたいだし
イリヤさんはずっと
普通の子として
育てられてきたはず

だから一種の
先天的な才能
なのかも…

…この事は
ルウィアさん
には?

話してない

…誰にも
言わない方が
いいと思う

そう
ですね

ま!

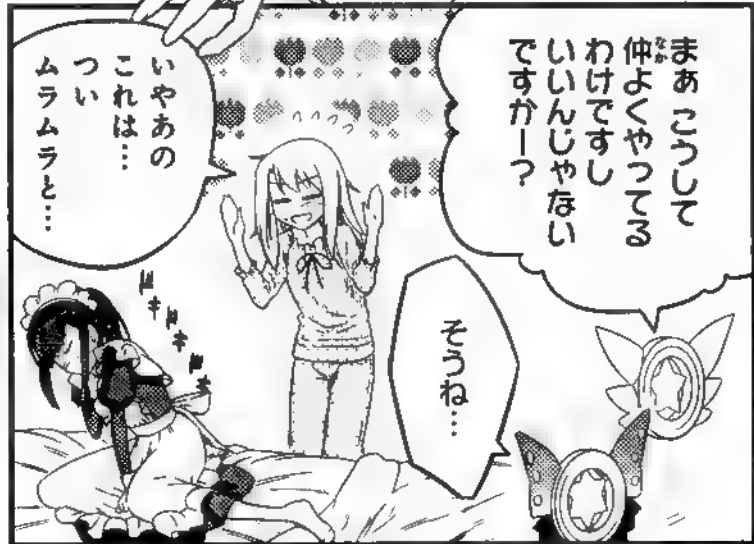
気にしても
しょうがない
でしょう!

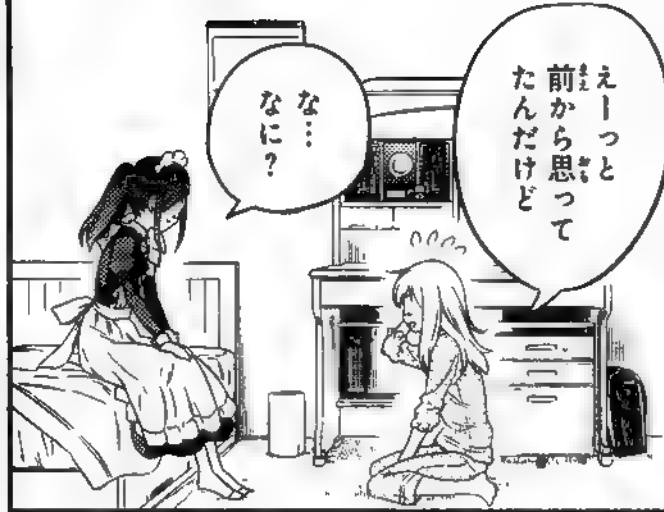
姉さんは
前向きね…

人間万事
結果オーライ
よー

勝てたんだから
よしとしましょう

それに…







うん！

それじゃ
あらためて
よろしくね
ミュ！



こ

こちらこそ…
よろしく

…………イリヤ



よーっ！

じゃあさっそく
からだ
身体を拭いて
もらおうかなー！

どうして
そうなるのッ！？

グッ

カッ

病人のお世話も
メイドの仕事
でしょー！

ご奉仕してー！

わ…わたしが
従事してるのは
ルヴィアさんで
あって…

っていうか
あなた恥じらいは
ないの！？

やれやれ
ですねー

いいから
早く身体を…

オ
ー
ツス！

見舞いに
きたぜー！

元気かー？
いや病気か！







その格好は
なに？
セラ

わたしが
間違っ
いたの
です
お嬢様！



で

サチャ



これが本来の
姿なのです！

ミュのメイド服に
感化されたんだね…

長年仕えてきたせいで
なアナアになっ
て
いましたか？わたしは
あくまでメイド！



おなに
そのカッコ

ヘンな服

私たちの
制服です！
なにサッパリ
忘れ去って
るん
ですかっ!!

ヒョコ



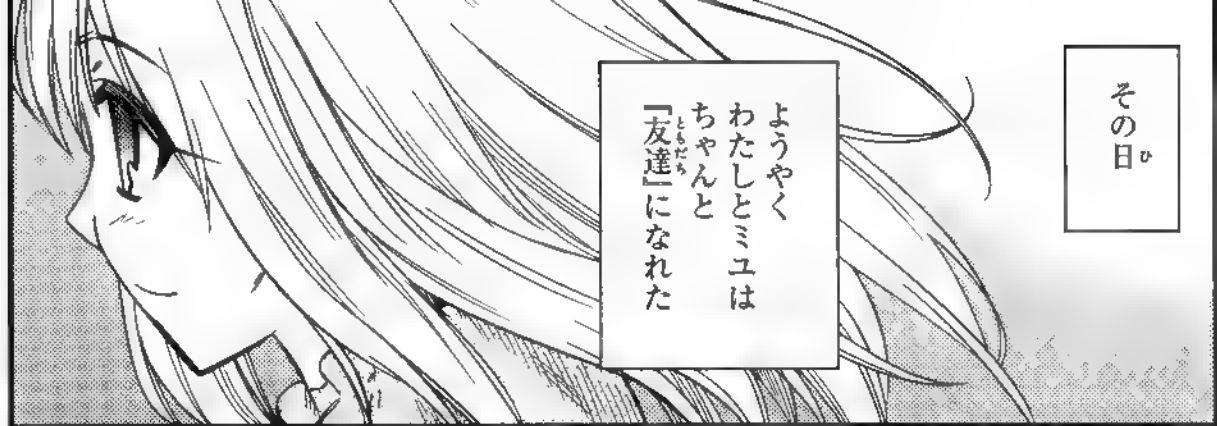
わたしその服あんまり
好きじゃないんだよね…
堅苦しくて

もっと
フリフリの
着ようよ

この服は
アインツベルン家の
正統なメイド服で…

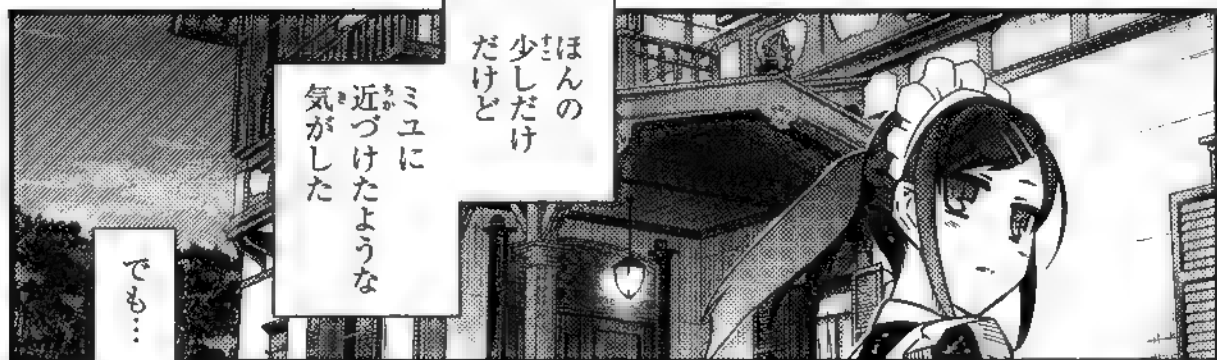
必要
ありません





その日

ようやく
わたしとミュは
ちゃんと
「友達」になれた



ほんの
少しだけ
だけど

ミュに
近づけたような
気がした

でも…

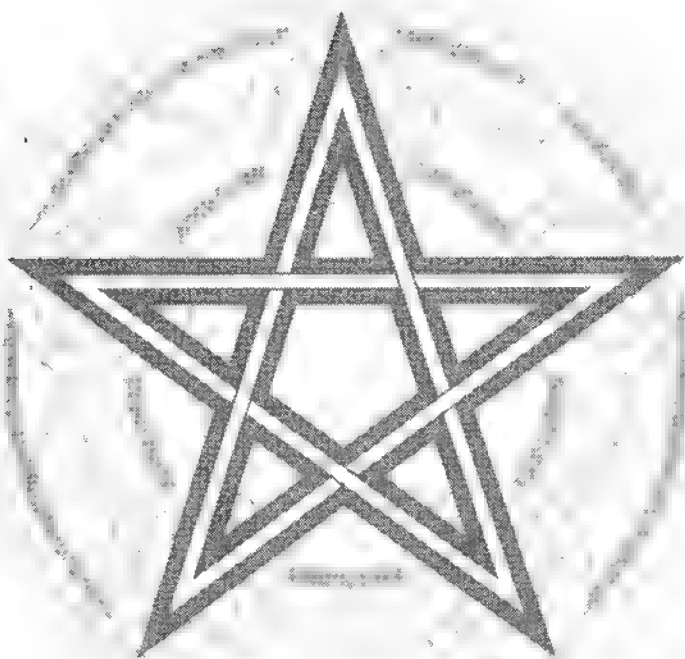


まだ
その時は

その意味の
重さには
気付いて
なくて…

そして

また
夜が来た



おおお
おかしなさいま
ご主人様？





これが

イリヤの
ちから
力——！

数分前
すうぶんまえ

どういう
ことですか？

敵はいないし
カードもない…

もぬけのカラ
というやつ
ですわね

場所を
間違えた
とか…？

まさか…
それはないわ

もともと鏡面界は
単なる世界の境界…
空間的には存在
しないもののなの

それがこうして
存在している以上
必ずどこかに原因が
あるはずだわ

そういえば今回は
なんだか空間が
狭いような…？

天井
かくい？



とりあえず
歩いて探すしか
ないのかな…

んーむ
なんとモ
地味な…



カードを
回収することに
歪みが減って
きてる証拠ね

最初の頃は
数キロ四方も
あったらしいし

うへー…



もつとこう
魔法少女らしく

ド派手に魔力砲
ぶつ放しまくって
一面焦土に変える
くらいのリリカルな
探索法をですね

それは探索
じゃなくて
破壊だよ…



今こそ必殺の
リリカルマジカル
ジエノサイドを…

なにそれ…

リリカルマジカル



気のせいかな...?

今何か動いたよう

.....

どうしたのイリヤ

?

な.....

美遊!!

イツ...



砲射!!

いない……!



大丈夫
物理保護が
利きました!

薄皮一枚
です!



イリヤ!

あうツ……!



敵の位置は
不明…

ほうじん
方陣を組むわ！
ぜんほうい
全方位を警戒！

不意打ちとは
ナメた真似を
してくれませ
わね！

こうげき
攻撃されるまで
まったく気配を
感じなかったわ！

その上完全な
急所狙い…！

気を抜か
ないで！

ヘタすれば
即死よ！

死…

密集しての
全方位警戒

結果として
それは

無意味に
終わる

死角をなくして
どんな角度からの
攻撃にも対処
できる陣形…

けど

敵を視認！
総数…
50以上!!

そんな…!

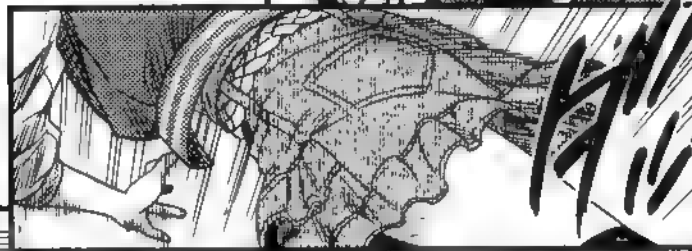
嘘でしょう…!!
完全に包囲
されてますわ!

なんて
インチキ…!

軍勢だなんて
聞いてないわよ!!



まずい
…ッ！



的に
される！

立ち止まら
ないで！



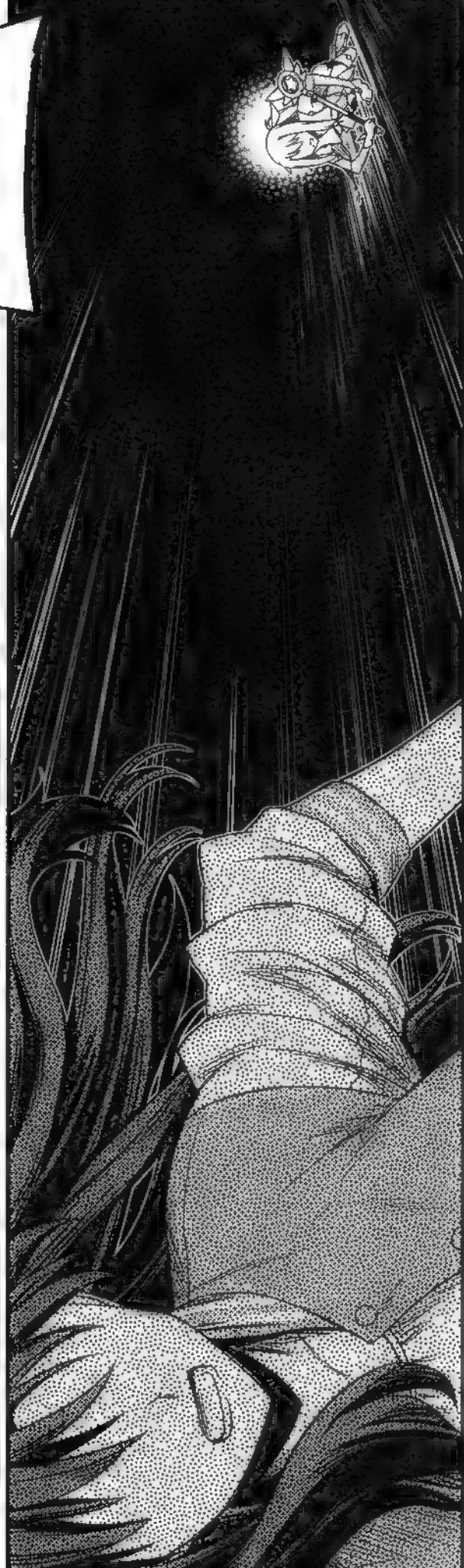
包囲を突破
するわ！！

火力を
一点集中！！

イリヤ！！
美遊！！

はい！

イリヤ？





まるで

王手^{おうて}を
かけられた
駒^{こま}みたいだなー

とか^{おも}思った


リン^{りん}さんの判断^{はんだん}は
冷静^{れいせい}で正確^{せうかく}
だったし

今回の敵^{てき}だって
前の^{まえ}に比べたら
決して強^{つよ}くはない
はずなのに



ただひとつ

さいしょ
最初の一手で
あとをとった



たった
それだけのことで
死んじゃうの…?



どうすれば…

どうすれば
よかったのかな

あれ?

そういえばルビーが
なんか言っ
てなかったっけ…?

ド派手に魔力砲ぶっ放しまくって一面焦土に…



そっか

それなら
簡単だ

ちゃんと
覚えていた

今度は

なっ…





イリヤ…

ミユ……

ヒヒヒ



リンさん…

ルヴィアさん…

ヒヒヒ



血…

わたしが…

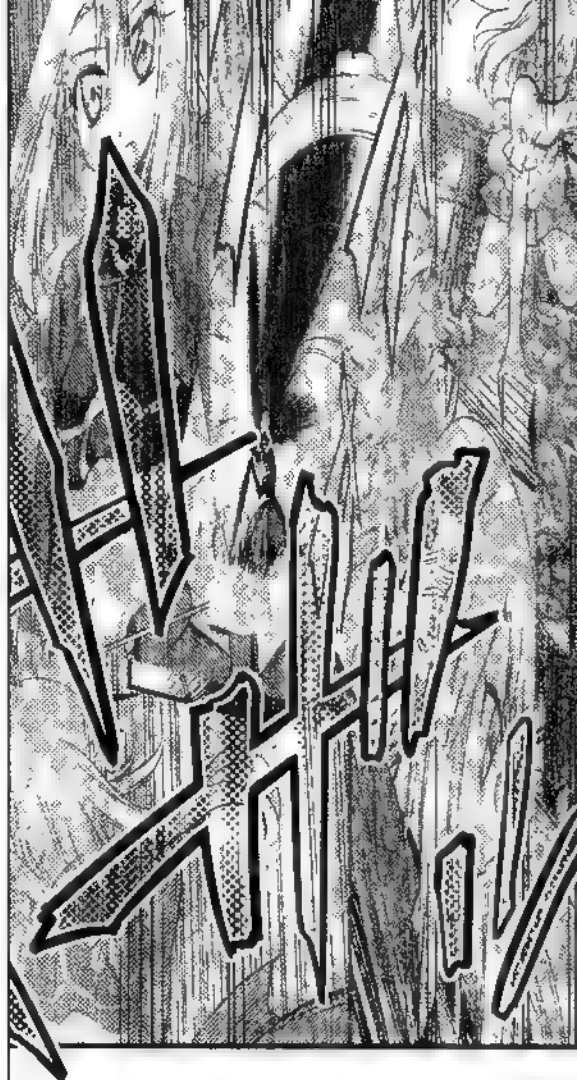
わたしの
せい…？

そんな…

そして



ようやくすべてを思い出した



イリヤ……?



なん…なの?

どうして
わたしが
こんなこと…

敵も…
ミュたちまで
巻き込んで…

もう…

もう…





カエ
帰らなきや

はやく

いえ
家に

カエ
帰らなきや

はやく

もつとはやく!!



上空…!?

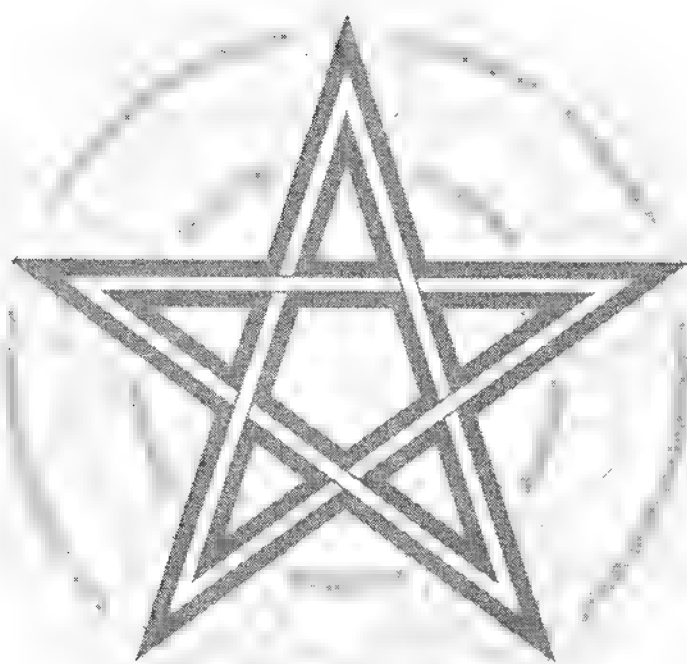
まさか
転移を!?

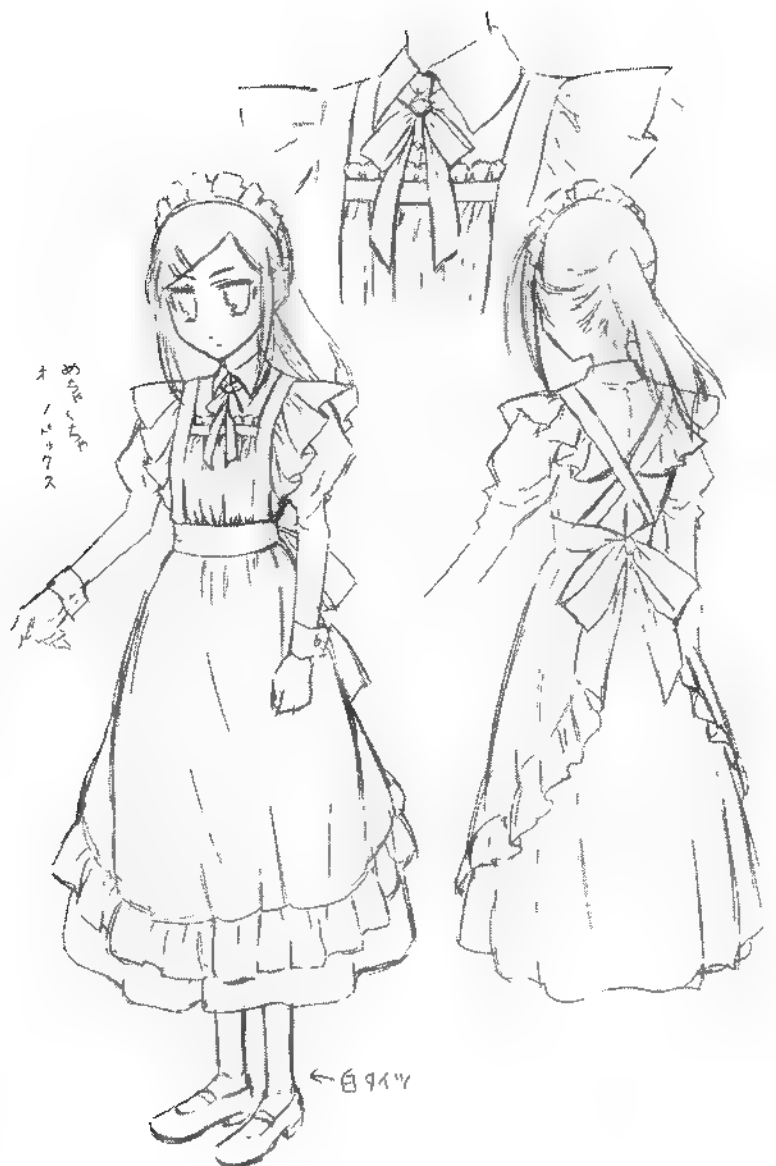
こんな距離を
一度に…!!



あった…!!







第11話 普通の女の子に戻ります



第11話 ☆ 普通の女の子に戻ります







なんか空気
わるいね…



イリヤちゃんと
美遊さん
ケンカでも
したのかな…

ちよつとずつ
美遊さんも
うち解けてきた
感じだったのに
いったい何が…

ミュキチの
やろー

そろそろデレ期かと
思ったのにまた
ツンに戻りやがって…！



もつれか!?
もつれた痴情が
ただれてるのか!?

それ意味
わかって
言ってる?

……

実際は
ケンカでも
何でもなく





とうしても

話しては
くれないの
ですか



ごめんさい

買ゆるつもりは
ありません

ですが
わたしは
留守を預かる身です



理由を話して
もらえないのに
夜う出歩きた
容認することは

もうしない
から！

信じて
いいのですね



もうしない…

もう夜
出歩いたり
しない…

今日で…
終わりに
するから…



いや—

しかし親バシは
まずかつたですね—

完全に非行少女だと
思われちゃって
ますよアレ

魔法少女のことは
秘密なんでしょ？

言ってもどうせ
信じられない
だろうし…
いいよもう



もちろん魔法少女は
正体不明がスタンダード
ですから！

今後ともそれは
隠し通して
いただかないと—

今後とも
……って

わたしもう
カード集めはしない
つもりなんだけど…

いいんじゃないですか 別にー

そもそもカード回収は
凛さんとルヴィアさんに
課せられた任務ですから

ふーん

止めないんだ？

わたし的には
カードとか別に
どうでもいいこと
ですしー

だいたいあんな
血生臭い泥仕事は
魔法少女のやること
じゃありません！

血生臭い……って
まあそうか……

どんなに言い繕っても
結局は命のやりとり
だったんだよね

それを怖いと
感じるのは まあ
当然のことと
言いますか

むしろ今まで
よく凛さんたちに
付き合っ
てやったものだ
と
言うべきですねー

どっちかって言うと
わたしが怖いのは…

怖い…

か…

？
なんですか？

ううん
えっと…

これから
どうすれば
いいのかな…って

そうですねー

もともとイリヤさんに
責任せきにんのあることでは
ないんですけども

とりあえずは—

凛さんに
ぶつちやけ
ましようか

——昨夜は急に
逃げ出したかと
思えば

それはなに？

辞表です…

こうなるかも
とは思ってた
けど

ま…

その

最初は…
正直…

興味本位っていうか…
面白半分だったの



昨夜のアレは
自分の意志で
起こしたの？

ち……

違うよ！

あれは……あんなの
わたしにできる
わけない！

あれはきつと
ルビーが……

わたし単体には
攻撃能力なんて
ありませんよ

マスターが
振るわない限り
魔力砲の一発も
撃てません

昨日の爆発は……
間違はなく
イリヤさんの
力によるものです

そんなはず……！

だって……
わたしは普通の
人間だもん……！

あんな……

あんなの
わたしじゃない……！！

……

本当の理由は
それか……

わかったわ

辞表を
受理する

いいの…?

協力を強要
してたのは
こっちだしね

小学生に戦いの
代理をしてもらう
なんてこと自体
無理があった
のよねーやっぱ…

もう十分でしょ
ルビー？
お遊びはおしまい

マスター登録を元に
戻しなさい！

やな
こつてす

わたしのマスターは
わたしが決めます！

ギギギ

まあいいわ

どうせカードは
残り一枚よ

カード回収が済んだら
わたしもルビーも
倫敦へ戻るわ

それで終わり

もうイリヤには
関わりのないことよ

…正式な
契約なんて
してないけど

一応言っ
ておくわ

それは――

イリヤ
スフィール

あなたとの
サーヴァントけいやく
奴隷契約を

解除する

…お疲れさま

もうあなたは
戦わなくていいし
わたしの命令も
聞かなくていいわ

それは

契約の料を
解く言葉

今日までのことは
忘れて生きなさい

これでもう
他人同士だと
凛さんは言う

一般人が
魔術の世界に首を
突っ込んでいい
ことなんてない

…全部
夢だと思って
忘れてくれていい

自分で望んだ
ことなのに…

どうしてだろう…



あなたはあなたの
日常に^{にちじよう}戻り^{もど}なさい

胸が

痛い



ま

そういう
ワケなん
だけど

あなたは
それでいい？

美遊

えっ…



はい



そう...

最後のカードは
わたしひとりで
回収します

問題
ありません

ミユ...



あなたはもう
戦わなくていい

あとは全部...
わたしが
終わらせるから...

最初に...
言ったとおり
になったね

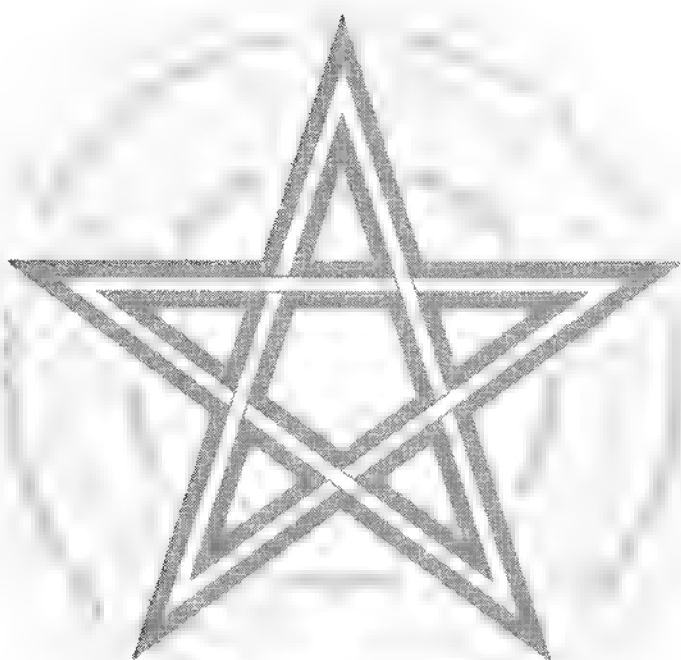
え...

.....

い
い
わ
は

ラストバトル…

は
じ
め
る
わ
よ
!!



この気配
デコ入れか！





ん

チャッ

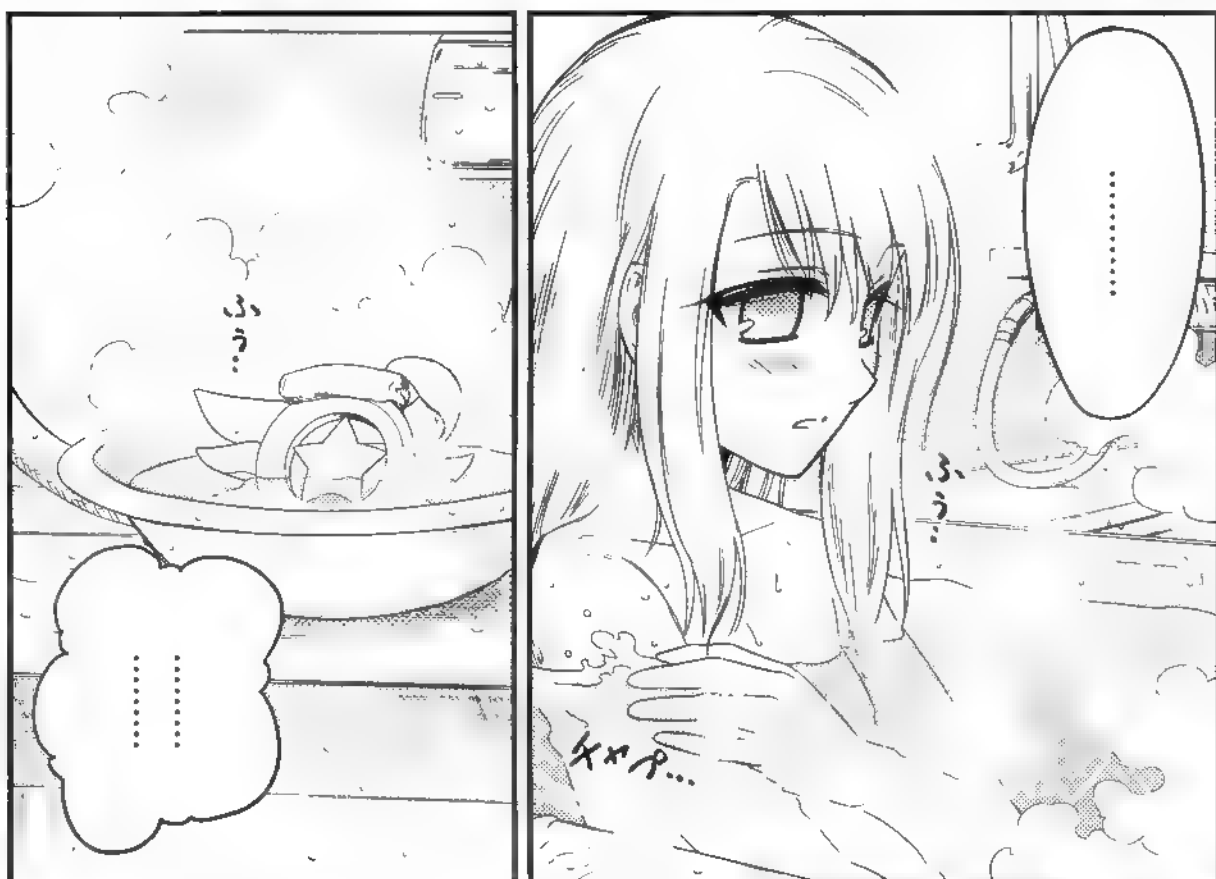
パッパッ



やっぱりお風呂は
落ちつくねえ...

は.....

チャッ





あら何これ？
お風呂で
おもちゃ？

イリヤも
まだまだ
子供ねー

いいやー
それほどでも…

長旅で
疲れちゃったわー
ひさびさに一緒に
入りましょうか

ええっ
ちよつと
ママ！

ほら
つめて
つめて

ちよつ…

は——

やつぱり
お風呂は
落ちつく
わねえ…

……

ずずいぶん
急な帰宅だね
ママ…

んんー？

私が急に帰ってきたら
何かまずいことでも
あるのかにやー？

いやあ…別に…





セラから聞いたけど
イリヤのクラスメイトが
住んでるんですってね



ね

どんな子？



どんな
って...

えっと...



ちよつと
見なかったうちに
あんなのが建っちゃう
なんてねー

一瞬^{いつしん}帰り道^{かみち}
間違^{まちが}えちゃった
かと思^{おも}ったわ

早^{はや}観^{かん}
念^{ねん}の^のり^りも^も

あはは...



なんていう
子なの？

.....
.....
.....

ミュちゃんかー

転校^{てんこう}生^{せい}なんだよね
友達^{ともだち}にはなれた？

.....
うん



砲射^{シュー}!!





なんて
でたらぬな
腕力

船中に真鍮は
隠けてくたさい
物理攻撃でも
守りきれません！

逃げろと
言ってます



フィールドが

狭すぎる……！！



逃げ場のない……では
あの要義力は
脅威ですわ……

せめて
あいつを
足止め
できないのか

魔法砲が効いてる
様子が見えん

すべて
身体の周囲で
かき消されて
いるように

あれは
対魔力じゃない…

もっと
高度な守り…？

まさか…！

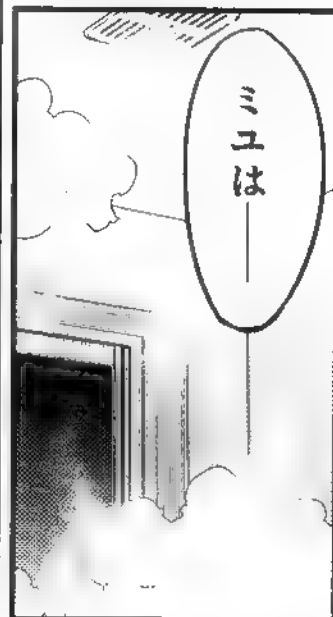
宝具…!?


間違
いでし
ょう

おそらくは
一定ランクに達しない
すべての攻撃を無効化する
鋼の肉体

それが敵の
宝具です…


美遊様…！






最初から
そうだった

最初からミュは
わたしのことなんて
アテにしてなかった



ひとりでやるのが
当たり前……

そういう
顔してた……




ミュはすごいよ

ミュならきつと——

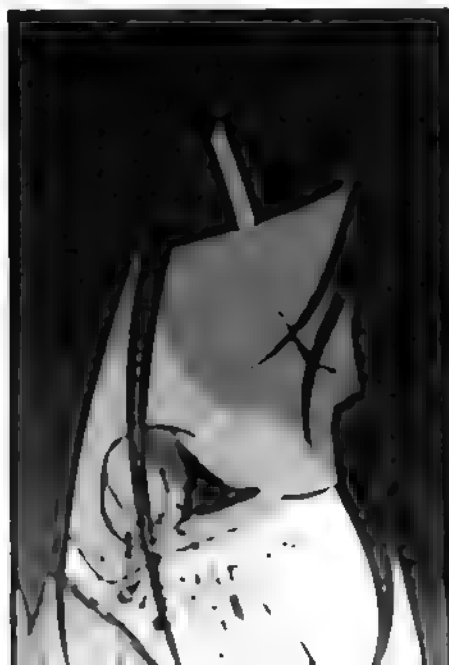
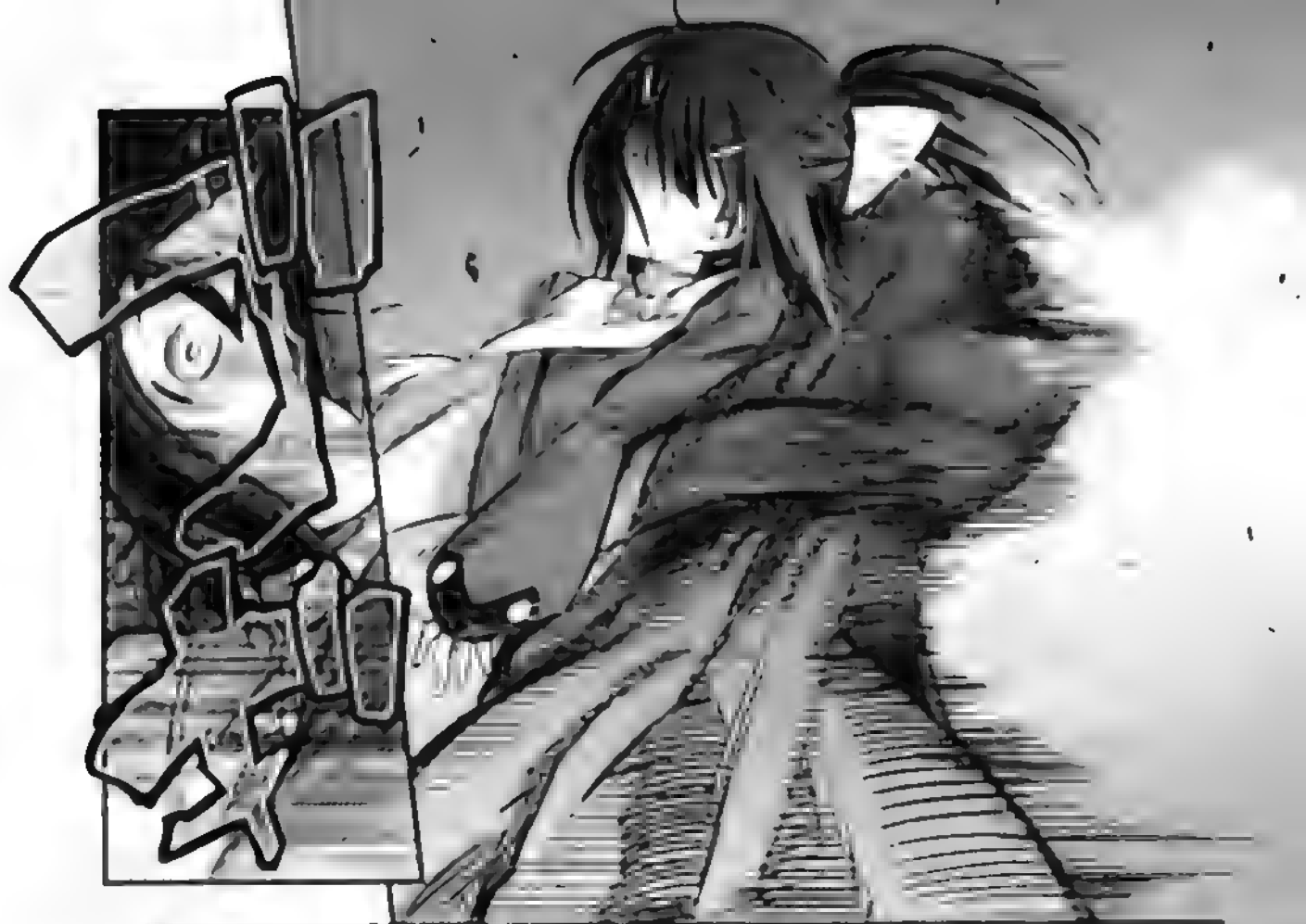


ひとりで大丈夫…



ほんとうに
そう思う？

えっ…？



ほんとに心配で
しょうがないん
でしょ？

それは…

それなら
手伝ってあげれば
いいだけじゃない

どうして
そうしないの？

そんなに――

自分の力が
怖い？



美遊!!

カッ...

カハッ...

な...!!

確かに心臓を
買いたはず
なのに...!!



蘇生能力!!

あれが宝具の
真の能力...!!



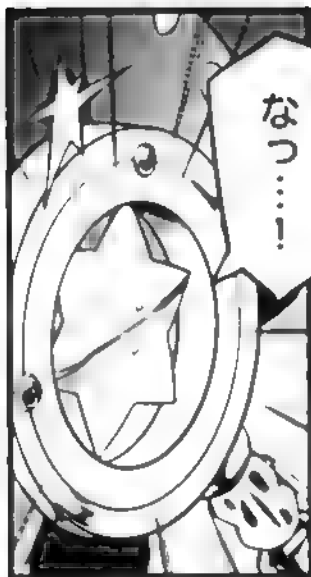
ありえない...!!
そ...!!
そ...!!
き...!!



鏡界回廊
一部反転！

離界…

え…



なっ…!!



見られると…

美遊様…!?

まずいから…



秘密…ね



美遊様!?

いったい
何を…!

これでいい

ようやく…

ひとりに
なれた…

カード

……どうして
できたのかは
わからなけれ
ば困ります
やっとなさ

これが

Saber

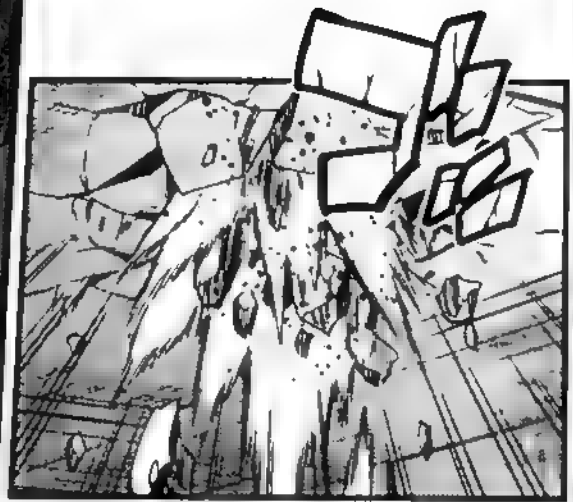
カードの
本当の使い方

告げる！

汝の身は我に！

汝の剣は我が手に！

聖杯のよるべに従い
この意この理に
従うならば応えよ！



誓いを此処に！

我は常世総ての
善と成る者！

我は常世総ての
悪を敷く者！

美遊様
敵が…！！

汝三大の言霊を
纏う七天！

美遊様！！

抑止の輪より
来たれ天秤の
守り手！

夢幻召喚!!!



今日^{きょう}

もく

撤退は
しない

すべての力^{ちから}を
もって

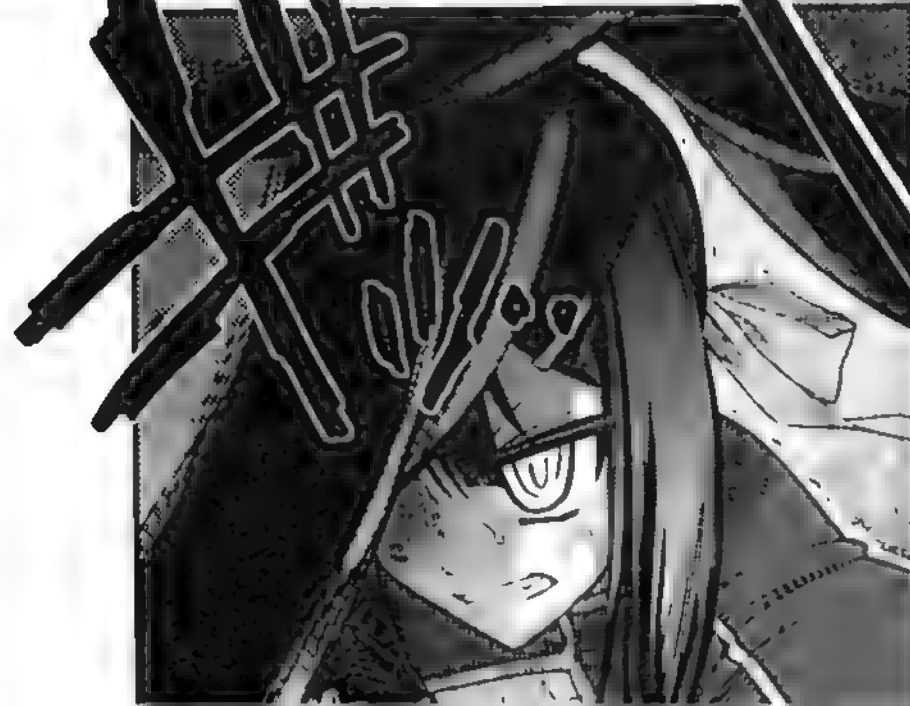
戦^{たたか}いを
終わらせる!!

武内さんに
「ヨロイない方がよくね？」
と言われたので本番では
脱がしました

初期デザイン









み…

美遊様！

サファイア？

驚いた
その状態になっても
しゃべれるんだね

いったい何が
起こっているの
ですか！

美遊様の
その格好
その戦闘力
まるで…

通行証を介した
英霊の座への
間接参照

クラスに応じた
英霊の力の一端を
写し取り 自身の存在へ
上書きする
疑似召喚

英霊になる

それが
カードの
本当の力

え…？

つまり



話はおしまい

敵が起きる

無限に
生き返る相手に
勝ち目など…！

無限
じゃない

オート蘇生なんて
破格の能力…
必ず回数に
限りがある

2度目の
蘇生…！

美遊様
敵はやはり
不死身です！

何度蘇ろう
とも







美道様!!

ぐっ……

通じない

明らかに
体表の硬度が
上がってる

こちらの攻撃の
耐性をつけて
いる…!?

こんな怪物…
倒しようが
ありません!

美遊様!
お願いです
撤退して
ください!

このままでは
いつか必ず…



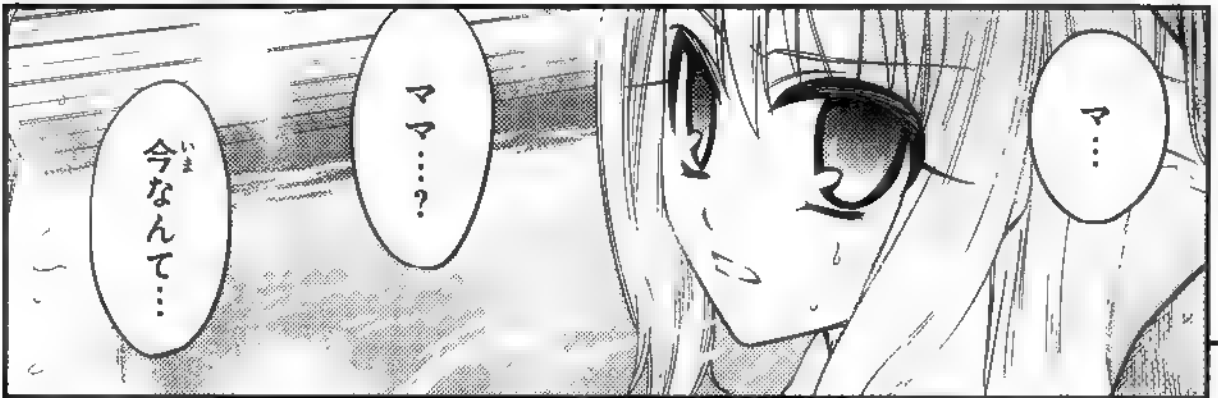
てったい
撤退は…

しない!

美遊様…

どうして
そのままで…







ああからさまに
すつとほけ
ないでよママ!

えーとホラあれよ
「それは自分で気付かねば
意味がないのだ…」
とか

「今はまだ
その時ではない…」

みたいなのっ!

なに
それー!?

あーもー
はんらんさんし
反論禁止!!

DVツ!?

とにかく!

私が言える
ことはひとつ

「力」を恐れて
いるのなら
それは間違いよ

力そのものに
良いも悪いもないの

重要なのは
使う人…
あなたの意志

あなたに
どんな力があるかと
恐れる必要なんて
ないわ

それは紛れもなく
あなたの一部
なんだから



美遊様!!
どうして撤退を
拒むのですか!!

今日が駄目でも
また次に態勢を
整えて...!

次じゃダメ!

今ここで
終わらせ
ないと...

二人でやらなきゃ
いけないことから
あなただけ
逃げたんでしょ?

ミュちゃん...
だったかしら?

わたし
ひとりで
終わらせ
ないと...

あなたにとって
ミュちゃんは...

どんな存在なの?

次はきつと
イリヤが
呼ばれる……!

……!

イリヤはもう…
戦いの
望んでない

そんなの…
決まってる—

ミュ…
ミュは…

初めて…
だったんだ…

わたしを…
——って…
言ってくれた人…

だから…

ミュ
は—



友達!!
ともだち





んう……





.....
ッ!!



そんな







効いたよ!

リンさん!

イリ...



サイン
Zeichen —— !!

セツト
Anfang —— !!



獣縛の正木枷!!!

その「ウツミたいな力」が自分にもあるってわかって……

急に……全部が怖くなって……!

イリヤ……

でも

本当にバカだったのは

逃げ出したことだ!

どんな経験だったとしても

自分が関わったことを

関わった人を

なかったことになんてできない

友達を見捨てたままじゃ

前へは進めないから……ッ!

あっ……!!



それは

鏡面界に
太陽が現われた

獣を縛る縄が
千切られ

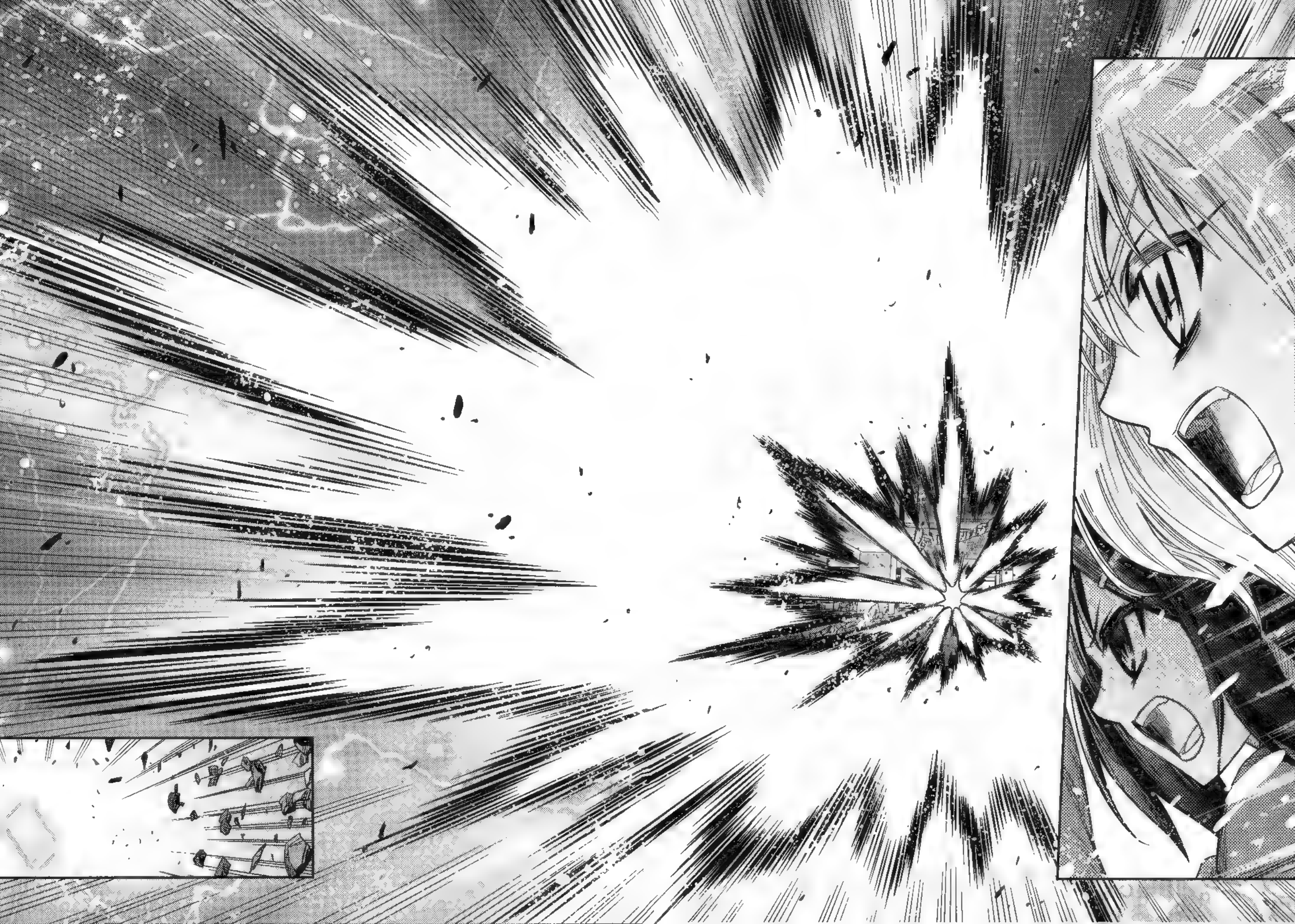
燦爛と耀く
その黄金の光は

敵が拘束を
破ると同時のこと

まるで

Kaleidoscope
万華鏡







イリヤさんが何を
しているのかは
わかりませんが…

力の封印が解ける
なんてよほどの
ことですよ

わたしは
イリヤさんには
ふつうな女の子として
生きてほしい

魔術とは
呪いの呪い
世界で平和に

奥様もそう考えたから
アインツベルンを出て…

そうか
でしー

逃げ出すことで
守れるもの
なんてないわ

主太もよ

あの子はずっと
自分の意思で
動いてるんだ

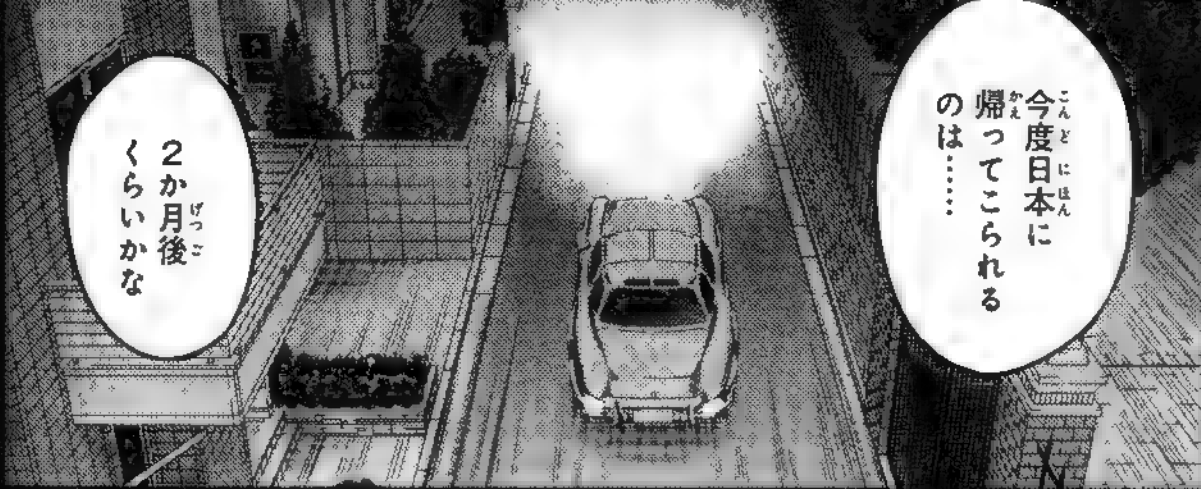
もう守られるだけの
子供じゃないわ

僕としては
あんなに
寂しいほど

主太







こんどにほん
今度日本に
帰ってこられる
のは……

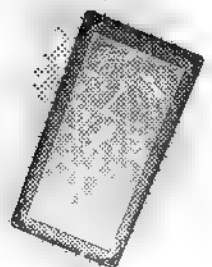
げつご
2か月後
くらいかな



とき
その時には
きっと――



えがお
イリヤは笑顔で
いてくれるわ





夢か……

おはよう
ございます
イリヤさん！

さくばん
昨晚はすごい
友情パワー
でしたね！

エピローグ

あら？
どうしたんですか
イリヤさん

さくばん
昨晚はあんなにも
リリカルでマジカル
だったのに！

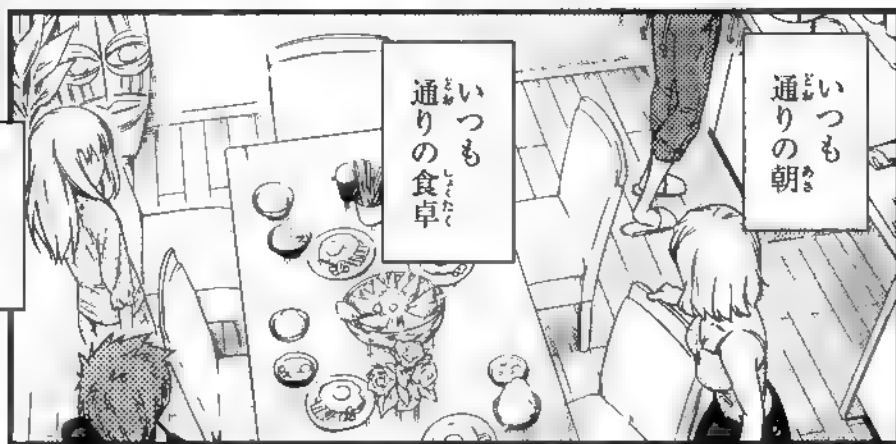
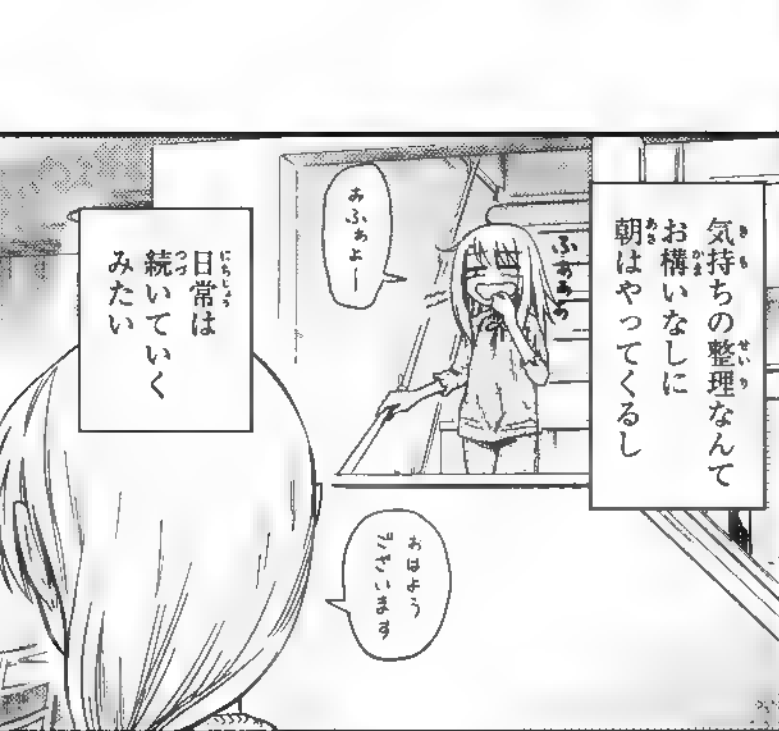
ちよっと……
気持ちの整理が
あるからそっと
しておいて……

そんな
時間ない
ですよー

とつと
起きて
ください！

あほら
目覚まし
鳴りましたよ！

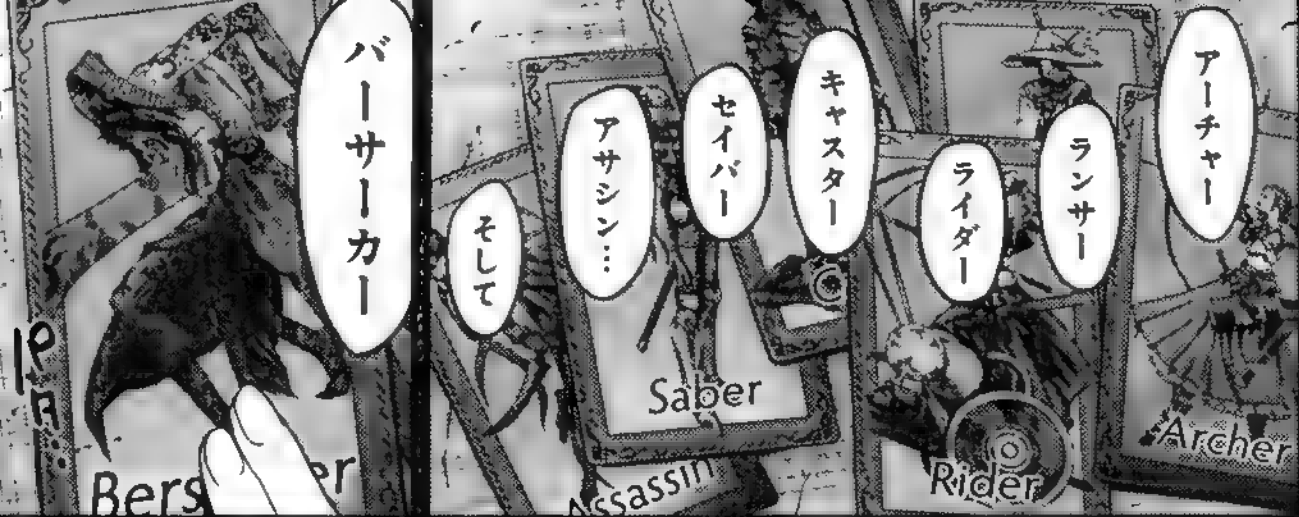
というわけで――



きょう
今日は
いつもより

心が軽い





：勝手に
巻き込んでおいて
なんだけど

あなたが
いてくれてよかった

わたしたちだけじゃ
たぶん
勝てなかった
と思う

最後まで
戦ってくれて…

ありがとう

それじゃ

このカードは
わたしが
倫敦に…

ヒョッ

ん？

ホッ
ホッホッホ!!

最後の最後に
油断しました
わね!

ご安心なさい!

カードはすべて私が
大師父の元へ届けて
差し上げますわーっ!

んなあああ
あああッ!?

…そのまま
ルヴィアさんは
逃走

朝まで二人は
追いかけてこを
していたそーな…

ホッ

ホッ
ホッホッホ!!

ちょ ちょつと
あんた 手柄
独り占めする
気かこのー!

それで
今朝になつたら
突然この状態
なんだよね…

何が
なんだか…

や別に
いいけど…

まー
いいや！

ハイ

ミユキチも
丸くなった
ってことで

あははは

今後とも仲よく
していこーぜっ！

は？

どうしてあなたと
仲よくしなくちや
いけないの？

わたしの友達
はイリヤだけ

あなたたちには
関係ないでしょう

もうイリヤには
近づかないで

うおおアアア
アアアッ！！

泣かせた
ぞーッ！！

ちよ
ちよつと
ミューッ！？

う…
じわ…

？



なにを
怒^{おこ}ってるの…？

わたしの友達^{ともだち}は
生涯^{しょうがい}イリヤだけ

他^{ほか}の人^{ひと}なんて
どうでも
いいでしょ？

何^{なに}それ重^{おも}ッ？

ていうか
友達^{ともだち}の解^{かい}釈^{しやく}
ヘンじゃない！？

わっ…
わからない…っ！

イヤ結構^{けつこう}前から
そうだったけど

この子^こが何^{なに}を
考^{かんが}えているのか
わからない…っ！！



オギヤアア
アアアアア！！

いかん！
タツツンが
マジ泣^なきだ！

ちよつとイリヤ
なんとかしれー！

わ
わたしー！！

戦^{たたか}いは
終^おわったけど…

もしかしたら
本当に大^{はん}変^{へん}なのは
これからなのかも
しれません…



どういう…
意^い味^みですか

大^{だい}師^し父^ふ



それから
もうひとつ

はい…？

言ったままの
意味じゃ

カード回収は
ご苦労じやった

これで冬木市の
地脈も安定しよう

約束どおり
お前たちを
弟子に迎えるのは
やぶさかでは
ないが...

魔術を学ぶ前に
お前には
一般常識が
足りておらん

なっ...

幸い日本は
「和」を
重んじる国じゃ

留学期間は1年

喧嘩で講堂を
ブチ壊すような
性格を直してこい

弟子にするのは...
それからじゃな

アイ...



ふツツツざげんな

ツツ!!!

なんだかんだで
全員日本在留
だそうで……

どうやらこの
ややこしくて
騒がしい関係は



まだまだ
続いていく
ようです





Fate / kaleid liner PRISMA ILLYA

the end

Kadokawa Comics A

角川コミックス・エース

フェイト カレイド ライナー

Fate/kaleid liner

プリズマ☆イリヤ②

漫画

ひろやまひろし

原作: Fate/stay night(TYPE-MOON) 企画原案: TYPE-MOON

2008年12月26日初版発行

2009年1月29日第2刷発行

発行者

井上伸一郎

発行 株式会社角川書店

〒102-8078 東京都千代田区富士見2-13-3 電話/(03)3238-8719(編集)

発売 株式会社角川グループパブリッシング

〒102-8177 東京都千代田区富士見2-13-3 電話/(03)3238-8521(営業)

<http://www.kadokawa.co.jp>

装幀・デザイン

沼利光(D式Graphics)

印刷

大日本印刷株式会社

製本

本間製本株式会社

初出/『コンプエース』'08年4月号、6月号〜'09年1月号



本書の無断複写・複製・転載を禁じます。落丁・乱丁本は、
ご面倒でも角川グループ受注センター読者係宛にお送りくださ
い。送料は小社負担でお取り替えいたします。

この物語はフィクションであり、実在の人物・団体名とは
関係がございません。

2008 KADOKAWA SHOTEN, Printed in Japan

©Hiroshi HIROYAMA 2008 ©TYPE-MOON

ISBN978-4-04-715142-0 C0979
